第６章　階級・階層の将来展望

これまで、対象者たちの過去と現在の労働―生活世界のあり方についてみてきた。これをふまえ、本章では、最後に、子どもに対する学歴期待、定住志向、仕事の継続志向、社会の将来像の４つの側面に焦点をあて、各階級・階層の未来の労働―生活世界のあり方を明らかにする。

第１節　子どもに対する学歴期待

子どもに対する学歴期待は、世代間にわたる将来展望を検討する上で重要な意義をもっている。しかし、学歴期待の水準は、一方で、期待の対象となる子どもの性別や続柄、他方で、親の階級・階層的立場によって大きく異なることが予想される。

そこで、子どもの性別や続柄を考慮した上で、親の階級・階層別の学歴期待をまとめてみると、表６－１、表６－２の如くなる。ただし、ここでは、すでに子どもが最終学歴を確定している人の回顧データも一部含まれている。

ここから、まず、男性の長男への学歴期待を見ると、個人階級、世帯階級、出身階級のいずれにおいてもすべての階級で「大学まで」がもっとも多くなっている。しかも、その水準もほぼ60％台～80％台と高く、「大学まで」の学歴期待がスタンダードになっている。しかし、個人階級や世帯階級を詳しく見てみると、本人の学歴の高かった不安定経営・管理階級／世帯で「大学院まで」（21.4％、15.8％）が他の階級と比べ格段に多いこと、逆に不安定労働者階級／世帯（24.4％、28.6％）や無職層（23.1％）で「高校まで」が相対的に多いことがわかる。それは、学歴期待のスタンダードの歴史的な上昇にもかかわらず、いまだに子ども（長男）への学歴期待に親の学歴を媒介にした一定の階級・階層差が存在していることを物語っている。なお、経営・管理出身者の場合、「大学まで」が54.5％と相対的に少なく、「高校まで」が27.3％に達しているが、データ数も少なく、この理由については必ずしも判然としない。また、個人階級と世帯階級の組み合わせに関しても、データ数が少ないため、十分なことがいえない。

これに対し、女性の長男への学歴期待の場合、階級の違いにかかわらず「大学まで」がスタンダードになっている点は変わらない。しかも、個人階級ごとに見ると、「大学まで」以外に20％を超えるもののある階級がなく、学歴期待は階級を超えた類似性をもつようになっている。しかし、世帯階級別に見ると、男性と同じく一定の階級・階層差が存在している。安定的経営・管理世帯や無職世帯で「大学院まで」が16.7％、20.0％と比較的多く、不安定労働者世帯で21.4％と「高校まで」が比較的多い点に示されている。それは、各世帯階級に多く存在する個人階級が世帯階級によってことなる学歴期待をもっていることにもとづいている。とくに、いずれの世帯階級にも存在する専業主婦としての無職層の与える影響が大きいといえる。したがって、ここでもまた、各世帯階級に多く存在する専業主婦としての無職層が一枚岩ではないことが浮き彫りになる。

次に、長女に対する学歴期待について見てみると、長男に対する学歴期待と異なり、男女ともいずれの階級においても「大学まで」が確実に減少している。もちろん、「大学院まで」の学歴期待は、ほとんど存在しなくなる。それにかわって、「短大まで」が大幅に増加し、「高校まで」も増えている。いいかえれば、長男と比べ、長女に対する学歴期待が全般的に低下していることを意味している。しかし、ここで注意すべきことは、すべての階級で長女に対する学歴期待が同じ形をとっているわけではないということである。

まず、男性で見ると、①「大学まで」が60％台の比較的高水準を示す安定的経営・管理階級／世帯（64.3％、60.0％）、②「大学まで」がほぼ50％台の不安定経営・管理階級／世帯（50.0％、47.4％）、自営業層・世帯（53.2％、47.7％）、③「短大まで」、「高校まで」の方が確実に多数派になっている安定的労働者階級／世帯、不安定労働者階級／世帯、無職層・無職世帯の学歴期待の異なる三つのグループが存在している。そこには、明らかに長男の場合よりも大きな階級・階層差が見いだせる。しかも、それは、

表６－１　長男への学歴期待

	男性					女性				
	高　校	獣・藜	大　学	大学院	N	高　校	獣・藜	大　学	大学院	N
A.安定的経営・管理世帯	8.3	0.0	75.0	8.3	12	4.2	4.2	66.7	16.7	24
A-1.安定的経営・管理階級	10.0	0.0	70.0	10.0	10	-	-	-	-	0
A-2.自営業層	0.0	0.0	100.0	0.0	2	0.0	0.0	100.0	0.0	2
A-3.安定的労働者階級	-	-	-	-	0	0.0	0.0	40.0	40.0	5
A-4.不安定労働者階級	-	-	-	-	0	0.0	14.3	71.4	14.3	7
A-5.無職層	-	-	-	-	0	10.0	0.0	70.0	10.0	10
a-1.経営・管理出身	0.0	0.0	100.0	0.0	1	0.0	0.0	100.0	0.0	1
a-2.自営業出身	0.0	0.0	80.0	0.0	5	0.0	12.5	75.0	12.5	8
a-3.労働者出身	16.7	0.0	66.7	16.7	6	6.7	0.0	60.0	20.0	15
B.不安定経営・管理世帯	10.5	5.3	63.2	15.8	19	13.6	4.5	72.7	9.1	22
B-1.不安定経営・管理階級	0.0	0.0	71.4	21.4	14	0.0	0.0	50.0	50.0	2
B-2.自営業層	50.0	0.0	50.0	0.0	2	25.0	0.0	75.0	0.0	4
B-3.安定的労働者階級	0.0	0.0	100.0	0.0	1	0.0	0.0	100.0	0.0	1
B-4.不安定労働者階級	50.0	50.0	0.0	0.0	2	0.0	0.0	75.0	25.0	4
B-5.無職層	-	-	-	-	0	18.2	9.1	72.7	0.0	11
b-1.経営・管理出身	33.3	33.3	0.0	0.0	3	0.0	0.0	100.0	0.0	3
b-2.自営業出身	0.0	0.0	75.0	25.0	12	7.1	7.1	78.6	7.1	14
b-3.労働者出身	25.0	0.0	75.0	0.0	4	40.0	0.0	40.0	20.0	5
C.自営業世帯	9.4	10.9	78.1	1.6	64	15.7	10.0	65.7	7.1	70
C-1.自営業層	10.6	12.8	74.5	2.1	47	17.2	3.4	65.5	10.3	29
C-2.安定的労働者階級	11.1	0.0	88.9	0.0	9	0.0	0.0	100.0	0.0	5
C-3.不安定労働者階級	0.0	0.0	100.0	0.0	5	8.3	16.7	75.0	0.0	12
C-4.無職層	0.0	33.3	66.7	0.0	3	20.8	16.7	54.2	8.3	24
c-1.経営・管理出身	-	-	-	-	0	20.0	0.0	60.0	20.0	5
c-2.自営業出身	10.0	6.0	82.0	2.0	50	20.0	12.0	58.0	8.0	50
c-3.労働者出身	7.1	28.6	64.3	0.0	14	0.0	6.7	93.3	0.0	15
D.安定的労働者世帯	14.7	8.8	70.6	4.9	102	6.9	4.9	78.4	7.8	102
D-1.安定的労働者階級	10.5	7.9	75.0	5.3	76	8.7	8.7	69.6	13.0	23
D-2.不安定労働者階級	33.3	0.0	58.3	8.3	12	2.8	2.8	83.3	8.3	36
D-3.無職層	21.4	21.4	57.1	0.0	14	9.3	4.7	79.1	4.7	43
d-1.経営・管理出身	16.7	0.0	83.3	0.0	6	0.0	33.3	33.3	33.3	3
d-2.自営業出身	15.3	10.2	69.5	5.1	59	8.3	2.1	77.1	10.4	48
d-3.労働者出身	13.5	8.1	70.3	5.4	37	5.9	5.9	82.4	3.9	51
E.不安定労働者世帯	28.6	0.0	64.3	3.6	28	21.4	14.3	50.0	9.5	42
E-1.不安定労働者階級	23.1	0.0	69.2	3.8	26	13.0	13.0	56.5	13.0	23
E-2.無職層	100.0	0.0	0.0	0.0	2	31.6	15.8	42.1	5.3	19
e-1.経営・管理出身	100.0	0.0	0.0	0.0	1	0.0	0.0	33.3	33.3	3
e-2.自営業出身	25.0	0.0	75.0	0.0	16	19.0	14.3	57.1	9.5	21
e-3.労働者出身	27.3	0.0	54.5	9.1	11	27.8	16.7	44.4	5.6	18
F.無職世帯	14.3	0.0	85.7	0.0	7	0.0	10.0	70.0	20.0	10
f-1.自営業出身	20.0	0.0	80.0	0.0	5	0.0	16.7	66.7	16.7	6
f-2.労働者出身	0.0	0.0	100.0	0.0	2	0.0	0.0	75.0	25.0	4
合　計	14.2	7.3	72.0	4.7	232	11.5	7.8	68.9	9.3	270
再掲 安定的経営・管理階級	10.0	0.0	70.0	10.0	10	-	-	-	-	0
再掲 不安定経営・管理階級	0.0	0.0	71.4	21.4	14	0.0	0.0	50.0	50.0	2
個人階級 自営業層	11.8	11.8	74.5	2.0	51	17.1	2.9	68.6	8.6	35
個人階級 安定的労働者階級	10.5	7.0	76.7	4.7	86	5.9	5.9	70.6	14.7	34
個人階級 不安定労働者階級	24.4	2.2	66.7	4.4	45	6.1	8.5	73.2	9.8	82
個人階級 無職層	23.1	15.4	61.5	0.0	26	15.4	9.4	65.8	6.8	117
出身 経営・管理出身	27.3	9.1	54.5	0.0	11	6.7	6.7	60.0	20.0	15
出身 自営業出身	12.9	6.1	75.5	4.8	147	12.9	8.8	67.3	9.5	147
出身 労働者出身	14.9	9.5	67.6	5.4	74	10.2	6.5	72.2	7.4	108

注）ここでは、「義務教育まで」、「その他」を除く、主要な学歴期待のみ表示。そのため、合計は100％にならない。

表６－２　長女への学歴期待

	男性					女性				
	高校まで	短大高専	大学まで	大学院まで	N	高校まで	短大高専	大学まで	大学院まで	N
A.安定的経営・管理世帯	6.7	20.0	60.0	0.0	15	4.8	42.9	42.9	0.0	21
A-1.安定的経営・管理階級	7.1	14.3	64.3	0.0	14	0.0	100.0	0.0	0.0	1
A-2.自営業層	-	-	-	-	0	0.0	0.0	100.0	0.0	2
A-3.安定的労働者階級	-	-	-	-	0	0.0	33.3	33.3	0.0	3
A-4.不安定労働者階級	-	-	-	-	0	0.0	100.0	0.0	0.0	4
A-5.無職層	0.0	100.0	0.0	0.0	1	9.1	27.3	54.5	0.0	11
a-1.経営・管理出身	0.0	50.0	50.0	0.0	2	0.0	0.0	100.0	0.0	1
a-2.自営業出身	0.0	25.0	25.0	0.0	4	0.0	55.6	44.4	0.0	9
a-3.労働者出身	11.1	11.1	77.8	0.0	9	9.1	36.4	36.4	0.0	11
B.不安定経営・管理世帯	10.5	31.6	47.4	5.3	19	21.1	31.6	42.1	0.0	19
B-1.不安定経営・管理階級	6.3	31.3	50.0	6.3	16	-	-	-	-	0
B-2.自営業層	-	-	-	-	0	25.0	50.0	25.0	0.0	4
B-3.安定的労働者階級	0.0	0.0	100.0	0.0	1	50.0	0.0	50.0	0.0	2
B-4.不安定労働者階級	50.0	50.0	0.0	0.0	2	0.0	40.0	60.0	0.0	5
B-5.無職層	-	-	-	-	0	25.0	25.0	37.5	0.0	8
b-1.経営・管理出身	33.3	33.3	33.3	0.0	3	0.0	66.7	33.3	0.0	3
b-2.自営業出身	10.0	30.0	50.0	10.0	10	18.2	36.4	36.4	0.0	11
b-3.労働者出身	0.0	33.3	50.0	0.0	6	40.0	0.0	60.0	0.0	5
C.自営業世帯	16.9	33.8	47.7	0.0	65	19.7	39.4	37.9	1.5	66
C-1.自営業層	17.0	29.8	53.2	0.0	47	17.2	31.0	44.8	3.4	29
C-2.安定的労働者階級	11.1	66.7	22.2	0.0	9	20.0	40.0	40.0	0.0	5
C-3.不安定労働者階級	0.0	33.3	50.0	0.0	6	37.5	37.5	25.0	0.0	8
C-4.無職層	66.7	0.0	33.3	0.0	3	16.7	50.0	33.3	0.0	24
c-1.経営・管理出身	-	-	-	-	0	14.3	42.9	42.9	0.0	7
c-2.自営業出身	15.7	35.3	49.0	0.0	51	21.4	42.9	33.3	0.0	42
c-3.労働者出身	21.4	28.6	42.9	0.0	14	17.6	29.4	47.1	5.9	17
D.安定的労働者世帯	20.2	35.1	40.4	1.1	94	13.8	44.7	36.2	3.2	94
D-1.安定的労働者階級	15.7	41.4	37.1	1.4	70	6.7	53.3	40.0	0.0	15
D-2.不安定労働者階級	20.0	20.0	60.0	0.0	10	7.7	53.8	35.9	0.0	39
D-3.無職層	42.9	14.3	42.9	0.0	14	22.5	32.5	35.0	7.5	40
d-1.経営・管理出身	20.0	60.0	0.0	0.0	5	0.0	40.0	60.0	0.0	5
d-2.自営業出身	18.6	39.5	37.2	2.3	43	13.6	38.6	36.4	6.8	44
d-3.労働者出身	21.7	28.3	47.8	0.0	46	15.6	51.1	33.3	0.0	45
E.不安定労働者世帯	20.0	50.0	26.7	0.0	30	26.7	42.2	26.7	2.2	45
E-1.不安定労働者階級	19.2	50.0	26.9	0.0	26	22.2	44.4	25.9	3.7	27
E-2.無職層	25.0	50.0	25.0	0.0	4	33.3	38.9	27.8	0.0	18
e-1.経営・管理出身	-	-	-	-	0	0.0	0.0	100.0	0.0	1
e-2.自営業出身	25.0	43.8	31.3	0.0	16	23.1	46.2	30.8	0.0	26
e-3.労働者出身	14.3	57.1	21.4	0.0	14	33.3	38.9	16.7	5.6	18
F.無職世帯	18.2	45.5	36.4	0.0	11	45.5	27.3	27.3	0.0	11
f-1.自営業出身	25.0	25.0	50.0	0.0	8	50.0	16.7	33.3	0.0	6
f-2.労働者出身	0.0	100.0	0.0	0.0	3	40.0	40.0	20.0	0.0	5
合計	17.5	35.9	42.3	0.9	234	18.8	41.0	35.5	2.0	256
再掲 安定的経営・管理階級	7.1	14.3	64.3	0.0	14	0.0	100.0	0.0	0.0	1
再掲 不安定経営・管理階級	6.3	31.3	50.0	6.3	16	-	-	-	-	0
個人階級 自営業層	17.0	29.8	53.2	0.0	47	17.1	31.4	45.7	2.9	35
個人階級 安定的労働者階級	15.0	43.8	36.3	1.3	80	12.0	44.0	40.0	0.0	25
個人階級 不安定労働者階級	18.2	40.9	36.4	0.0	44	14.5	50.6	31.3	1.2	83
個人階級 無職層	33.3	30.3	36.4	0.0	33	24.1	35.7	34.8	2.7	112
出身 経営・管理出身	20.0	50.0	20.0	0.0	10	5.9	41.2	52.9	0.0	17
出身 自営業出身	17.4	36.4	42.4	1.5	132	18.8	41.3	34.8	2.2	138
出身 労働者出身	17.4	33.7	44.6	0.0	92	20.8	40.6	33.7	2.0	101

各階級の経済的社会的な条件の違いに対応したものとなっている。こうした傾向は、女性の場合、階級・階層間の相違は多少縮小されているものの、基本的な傾向は男性の場合と同様に見いだせる。

その場合、ここで見られた結果は、子どもへの学歴期待を見る場合に、父親・母親の違いだけではなく子どもの性別をも考慮しなければ十分ではないことを物語っている。いいかれば、かかる事態は、親子間の関係を分析する際には、階級・階層的視点と二重の意味でのジェンダーの視点に注意する必要があることを示唆している。その意味で、こうした視点から、父母の子どもに対する学歴期待が一元的な高学歴志向を帯びたものになっているとする一般的な見方を再検討しなければならないといえる（なお、長男以外の男子への学歴期待、長女以外の女子への学歴期待のデータもあるが、データ数が少なくなるため、割愛する）。

第２節　定住志向の階級・階層的特徴

未来の生活世界は、定住志向からも検討することができる。それは、定住志向がみずからの生活世界をいかなる地域で展開しようと考えているのかを示すものに他ならないからである。

そこで、対象者の定住志向を見てみると（表６－３）、男性の場合、全体として、約７割が現在地への定住志向をもっていることがわかる。太田市が工業都市であり、“労働者の町”であることを考えると、きわめて高い定住志向であるといえる。しかし、これを階級別に見ると、個人階級では、定住志向のあり方から見て三つのグループが存在することに気づく。

第一に、安定的経営・管理階級のように、定住志向をもつ者が４割台（41.2%）しかいない階級がいる。それは、この階級が大企業の経営・管理層によって構成されているため、「必ず転出する」と「わからない」がほぼ４分の１ずつ（ともに23.5%）存在していることにもとづいている。いいかえれば、このことは、この階級の場合、転勤がほぼ宿命的なものとなっている者が少なくないことを示している。事実、移動する理由を明確にしている6名のうち4名（66.7%）が「転勤があるから」をあげている（表６－４参照）。

第二に、その対極に、不安定経営・管理階級（72.7%）、自営業層（82.2%）、無職層（88.5%）のように、定住志向がきわめて高い階級・階層がある。これらの階級・階層では、「定住する」意志を表明する者が7割～８割台にのぼっている。それは、すでに見たごとく、これらの階級・階層には古くから太田市に根付いている者が多いことと関係している。つまり、すでにこの地に土地や家を確保し、生活環境に慣れ親しみ、人間関係のつながりが強いため、定住志向が強くなっていると考えられる。ちなみに、定住したい理由として、表６－５のようにこの三つの階級はいずれも８割以上が「家屋敷があるから」をあげ、不安定経営・管理階級と自営業層の場合、「生活環境がよい」、「人間関係がよい」をあげている者が相対的に多く、前者で全階級中上位１、２位、後者で上位１、３位となっている。

第三に、安定的労働者階級と不安定労働者階級がある。この二つの階級は、定住する意志のある者がほぼ6割台（前者＝59.9%、後者＝64.4%）で、安定的経営・管理階級と不安定経営・管理階級、自営業層、無職層の中間に位置している。それは、一方で、この二つの階級が安定的経営・管理階級とともに、地域への根付きが弱く、他方で、それにもかかわらず、定住せざるを得ない層が少なくないことにもとづいていると考えられる。事実、定住志向をもつ者の中にも、必ずしも積極的にではなく、消極的に定住せざるをえないという意志がうかがえるケースも少なくない。とくに、それは安定的労働者階級に典型的で、定住したい理由として89.0%が「家屋敷があるから」とこたえているのを前提に、「人間関係が良い」をあげるのが安定的経営・管理階級を除いて最低（18.3%）である一方、「親の面倒を見るため」（31.7%）が各階級のうちもっとも多くなっている（表６－５）。そこには、「人間関係は良い」とはいえないが、「家屋敷」があり、「親の面倒を見るため」、現在地にとどまる道を選ばざるをえない姿が浮かび上がってくる。

こうして、男性の場合、個人階級別に見ると、階級によって明確に定住志向が異なることが明らかになる。それは、世帯階級の場合にもほぼ同様に見られるが、データ数がもともと少ないうえに世帯を特徴づける階級とは異なる個人階級が同居する安定的経営・管理世帯と不安定経営・管理世帯の場合、個人階級

表６－３　定住志向

	男性					女性				
	定住する	転出したい	必ず転出する	わからない	N	定住する	転出したい	必ず転出する	わからない	N
A.安定的経営・管理世帯	50.0	10.0	20.0	20.0	20	58.6	3.4	13.8	24.1	29
A-1.安定的経営・管理階級	41.2	11.8	23.5	23.5	17	100.0	0.0	0.0	0.0	1
A-2.自営業層	100.0	0.0	0.0	0.0	2	50.0	0.0	0.0	50.0	2
A-3.安定的労働者階級	-	-	-	-	0	60.0	20.0	0.0	20.0	5
A-4.不安定労働者階級	-	-	-	-	0	71.4	0.0	14.3	14.3	7
A-5.無職層	100.0	0.0	0.0	0.0	1	50.0	0.0	21.4	28.6	14
a-1.経営・管理出身	66.7	0.0	0.0	33.3	3	50.0	0.0	0.0	50.0	2
a-2.自営業出身	37.5	25.0	25.0	12.5	8	63.6	0.0	18.2	18.2	11
a-3.労働者出身	55.6	0.0	22.2	22.2	9	56.3	6.3	12.5	25.0	16
B.不安定経営・管理世帯	64.3	3.6	7.1	25.0	28	56.7	16.7	0.0	26.7	30
B-1.不安定経営・管理階級	72.7	0.0	4.5	22.7	22	50.0	50.0	0.0	0.0	2
B-2.自営業層	50.0	50.0	0.0	0.0	2	20.0	40.0	0.0	40.0	5
B-3.安定的労働者階級	100.0	0.0	0.0	0.0	1	66.7	0.0	0.0	33.3	3
B-4.不安定労働者階級	0.0	0.0	50.0	50.0	2	50.0	16.7	0.0	33.3	6
B-5.無職層	0.0	0.0	0.0	100.0	1	71.4	7.1	0.0	21.4	14
b-1.経営・管理出身	0.0	0.0	33.3	66.7	3	20.0	40.0	0.0	40.0	5
b-2.自営業出身	66.7	6.7	0.0	26.7	15	77.8	11.1	0.0	11.1	18
b-3.労働者出身	80.0	0.0	10.0	10.0	10	28.6	14.3	0.0	57.1	7
C.自営業世帯	79.2	4.7	0.9	15.1	106	74.5	9.4	4.7	11.3	106
C-1.自営業層	82.6	4.3	0.0	13.0	69	83.7	2.3	7.0	7.0	43
C-2.安定的労働者階級	72.2	11.1	5.6	11.1	18	57.1	14.3	14.3	14.3	7
C-3.不安定労働者階級	72.7	0.0	0.0	27.3	11	55.6	22.3	5.6	16.7	18
C-4.無職層	75.0	0.0	0.0	25.0	8	76.3	10.5	0.0	13.2	38
c-1.経営・管理出身	-	-	-	-	0	28.6	14.3	0.0	57.1	7
c-2.自営業出身	80.5	4.9	0.0	14.6	82	77.0	9.5	5.4	8.1	74
c-3.労働者出身	75.0	4.2	4.2	16.7	24	80.0	8.0	4.0	8.0	25
D.安定的労働者世帯	64.5	10.3	4.5	20.6	155	60.5	10.5	9.3	19.8	162
D-1.安定的労働者階級	57.6	12.7	5.9	23.7	118	54.5	15.9	6.8	22.7	44
D-2.不安定労働者階級	73.3	6.7	0.0	20.0	15	55.2	13.8	8.6	22.4	58
D-3.無職層	95.5	0.0	0.0	4.5	22	70.0	3.3	11.7	15.0	60
d-1.経営・管理出身	44.4	33.3	11.1	11.1	9	42.9	0.0	14.3	42.9	7
d-2.自営業出身	75.6	7.7	3.8	12.8	78	80.0	7.7	6.2	6.2	65
d-3.労働者出身	54.4	10.3	4.4	30.9	68	47.8	13.3	11.1	27.8	90
E.不安定労働者世帯	67.9	9.4	11.3	11.3	53	59.4	10.9	10.9	18.8	64
E-1.不安定労働者階級	62.2	11.1	13.3	13.3	45	53.8	12.8	10.3	23.1	39
E-2.無職層	100.0	0.0	0.0	0.0	8	68.0	8.0	12.0	12.0	25
e-1.経営・管理出身	100.0	0.0	0.0	0.0	1	66.7	0.0	0.0	33.3	3
e-2.自営業出身	73.3	6.7	10.0	10.0	30	59.4	9.4	15.6	15.6	32
e-3.労働者出身	59.1	13.6	13.6	13.6	22	58.6	13.8	6.9	20.7	29
F.無職世帯	85.7	4.8	4.8	4.8	21	81.0	14.3	0.0	4.8	21
f-1.自営業出身	92.3	0.0	0.0	7.7	13	83.3	8.3	0.0	8.3	12
f-2.労働者出身	75.0	12.5	12.5	0.0	8	77.8	22.2	0.0	0.0	9
合計	69.5	7.8	5.5	17.2	383	64.6	10.5	7.5	17.5	412
再掲 安定的経営・管理階級	41.2	11.8	23.5	23.5	17	100.0	0.0	0.0	0.0	1
再掲 不安定経営・管理階級	72.7	0.0	4.5	22.7	22	50.0	50.0	0.0	0.0	2
個人階級 自営業層	82.2	5.5	0.0	12.3	73	76.0	6.0	6.0	12.0	50
個人階級 安定的労働者階級	59.9	12.4	5.8	21.9	137	55.9	15.3	6.8	22.0	59
個人階級 不安定労働者階級	64.4	8.2	9.6	17.8	73	55.5	14.1	8.6	21.9	128
個人階級 無職層	88.5	1.6	1.6	8.2	61	70.9	7.0	7.6	14.5	172
出身 経営・管理出身	43.8	18.8	12.5	25.0	16	37.5	12.5	4.2	45.8	24
出身 自営業出身	76.1	6.6	3.5	13.7	226	75.0	8.4	7.1	9.4	212
出身 労働者出身	61.7	8.5	7.8	22.0	141	55.7	12.5	8.5	23.3	176

表６－４　移動したい理由（男性）

	生活環境が悪いから	人間関係が悪いから	別に土地や家がある	転勤があるから	転職するから	良い職場がないから	通勤に時間がかかる	結婚するから	その他	N
A.安定的経営・管理世帯	0.0	16.7	50.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	6
A-1.安定的経営・管理階級	0.0	16.7	50.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	6
A-2.自営業層	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
A-3.安定的労働者階級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
A-4.不安定労働者階級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
A-5.無職層	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
a-1.経営・管理出身	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
a-2.自営業出身	0.0	25.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	4
a-3.労働者出身	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
B.不安定経営・管理世帯	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	3
B-1.不安定経営・管理階級	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
B-2.自営業層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	1
B-3.安定的労働者階級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
B-4.不安定労働者階級	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
B-5.無職層	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
b-1.経営・管理出身	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
b-2.自営業出身	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	1
b-3.労働者出身	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
C.自営業世帯	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	6
C-1.自営業層	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	3
C-2.安定的労働者階級	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	3
C-3.不安定労働者階級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
C-4.無職層	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
c-1.経営・管理出身	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
c-2.自営業出身	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	4
c-3.労働者出身	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	2
D.安定的労働者世帯	30.4	17.4	21.7	17.4	4.3	0.0	4.3	0.0	13.0	23
D-1.安定的労働者階級	31.8	18.2	22.7	18.2	4.5	0.0	4.5	0.0	13.6	22
D-2.不安定労働者階級	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
D-3.無職層	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
d-1.経営・管理出身	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	4
d-2.自営業出身	55.6	22.2	22.2	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9
d-3.労働者出身	20.0	20.0	30.0	10.0	10.0	0.0	10.0	0.0	20.0	10
E.不安定労働者世帯	18.2	9.1	18.2	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	11
E-1.不安定労働者階級	18.2	9.1	18.2	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	11
E-2.無職層	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
e-1.経営・管理出身	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
e-2.自営業出身	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	5
e-3.労働者出身	33.3	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	6
F.無職世帯	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	2
f-1.自営業出身	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
f-2.労働者出身	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	2
合計	17.6	11.8	27.5	17.6	3.9	2.0	2.0	0.0	19.6	51
再掲 安定的経営・管理階級	0.0	16.7	50.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	6
再掲 不安定経営・管理階級	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
個人階級 自営業層	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	4
個人階級 安定的労働者階級	28.0	16.0	20.0	16.0	4.0	0.0	4.0	0.0	24.0	25
個人階級 不安定労働者階級	15.4	7.7	23.1	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	13
個人階級 無職層	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	2
出身 経営・管理出身	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	5
出身 自営業出身	21.7	13.0	26.1	26.1	0.0	4.3	0.0	0.0	21.7	23
出身 労働者出身	17.4	13.0	30.4	8.7	8.7	0.0	4.3	0.0	17.4	23

表６－５　定住したい理由

	男性						女性					
	生活環境良い	人間関係良い	親の面倒見る	家屋敷がある	移る場所ない	N	生活環境良い	人間関係良い	親の面倒見る	家屋敷がある	移る場所ない	N
A.安定的経営・管理世帯	50.0	0.0	30.0	80.0	20.0	10	47.1	41.2	11.8	94.1	11.8	17
A-1.安定的経営・管理階級	28.6	0.0	14.3	71.4	28.6	7	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	1
A-2.自営業層	100.0	0.0	50.0	100.0	0.0	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	1
A-3.安定的労働者階級	-	-	-	-	-	0	0.0	33.3	0.0	100.0	33.3	3
A-4.不安定労働者階級	-	-	-	-	-	0	80.0	40.0	0.0	100.0	20.0	5
A-5.無職層	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	1	42.9	57.1	14.3	85.7	0.0	7
a-1.経営・管理出身	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	1
a-2.自営業出身	66.7	0.0	0.0	100.0	33.3	3	57.1	42.9	14.3	100.0	14.3	7
a-3.労働者出身	20.0	0.0	20.0	60.0	20.0	5	44.4	44.4	11.1	88.9	11.1	9
B.不安定経営・管理世帯	64.7	41.2	23.5	82.4	11.8	17	64.7	41.2	29.4	94.1	0.0	17
B-1.不安定経営・管理階級	60.0	40.0	20.0	80.0	13.3	15	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	1
B-2.自営業層	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	1
B-3.安定的労働者階級	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	1	50.0	50.0	50.0	100.0	0.0	2
B-4.不安定労働者階級	-	-	-	-	-	0	66.7	33.3	33.3	100.0	0.0	3
B-5.無職層	-	-	-	-	-	0	70.0	40.0	30.0	90.0	0.0	10
b-1.経営・管理出身	-	-	-	-	-	0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	1
b-2.自営業出身	66.7	55.6	22.2	88.9	0.0	9	64.3	50.0	21.4	92.9	0.0	14
b-3.労働者出身	62.5	25.0	25.0	75.0	25.0	8	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	2
C.自営業世帯	52.4	29.8	22.6	90.5	10.7	84	51.9	50.6	27.3	89.6	2.6	77
C-1.自営業層	56.1	35.1	17.5	91.2	12.3	57	57.1	54.3	22.9	94.3	2.9	35
C-2.安定的労働者階級	46.2	23.1	46.2	84.6	7.7	13	50.0	75.0	75.0	100.0	0.0	4
C-3.不安定労働者階級	50.0	12.5	37.5	100.0	12.5	8	40.0	50.0	30.0	70.0	10.0	10
C-4.無職層	33.3	16.7	0.0	83.3	0.0	6	50.0	42.9	25.0	89.3	0.0	28
c-1.経営・管理出身	-	-	-	-	-	0	50.0	50.0	100.0	100.0	0.0	2
c-2.自営業出身	54.5	36.4	22.7	89.4	9.1	66	50.0	50.0	23.2	89.3	1.8	56
c-3.労働者出身	44.4	5.6	22.2	94.4	16.7	18	57.9	52.6	31.6	89.5	5.3	19
D.安定的労働者世帯	45.4	18.6	20.6	90.7	7.2	97	57.3	32.3	13.5	89.6	4.2	96
D-1.安定的労働者階級	48.5	16.2	27.9	89.7	7.4	68	66.7	20.8	20.8	83.3	8.3	24
D-2.不安定労働者階級	20.0	10.0	0.0	100.0	10.0	10	50.0	34.4	18.8	90.6	3.1	32
D-3.無職層	47.4	31.6	5.3	89.5	5.3	19	57.5	37.5	5.0	92.5	2.5	40
d-1.経営・管理出身	50.0	0.0	25.0	100.0	0.0	4	33.3	33.3	33.3	100.0	66.7	3
d-2.自営業出身	37.5	16.1	10.7	91.1	7.1	56	47.1	35.3	7.8	96.1	2.0	51
d-3.労働者出身	56.8	24.3	35.1	89.2	8.1	37	71.4	28.6	19.0	81.0	2.4	42
E.不安定労働者世帯	48.6	45.7	11.4	74.3	11.4	35	52.8	25.0	25.0	83.3	5.6	36
E-1.不安定労働者階級	53.6	53.6	14.3	71.4	10.7	28	45.0	25.0	20.0	85.0	5.0	20
E-2.無職層	28.6	14.3	0.0	85.7	14.3	7	62.5	25.0	31.3	81.3	6.3	16
e-1.経営・管理出身	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	1	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	2
e-2.自営業出身	42.9	47.6	0.0	85.7	19.0	21	66.7	33.3	27.8	88.9	5.6	18
e-3.労働者出身	61.5	46.2	23.1	53.8	0.0	13	43.8	12.5	25.0	81.3	6.3	16
F.無職世帯	41.2	17.6	0.0	100.0	11.8	17	33.3	40.0	6.7	86.7	0.0	15
f-1.自営業出身	45.5	18.2	0.0	100.0	18.2	11	30.0	30.0	0.0	80.0	0.0	10
f-2.労働者出身	33.3	16.7	0.0	100.0	0.0	6	40.0	60.0	20.0	100.0	0.0	5
合計	49.2	26.5	19.2	88.1	10.0	260	53.5	38.4	19.8	89.1	3.9	258
再掲 安定的経営・管理階級	28.6	0.0	14.3	71.4	28.6	7	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	1
再掲 不安定経営・管理階級	60.0	40.0	20.0	80.0	13.3	15	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	1
個人階級 自営業層	58.3	33.3	18.3	91.7	11.7	60	54.1	51.4	21.6	94.6	2.7	37
個人階級 安定的労働者階級	48.8	18.3	31.7	89.0	7.3	82	57.6	30.3	27.3	87.9	9.1	33
個人階級 不安定労働者階級	45.7	37.0	15.2	82.6	10.9	46	50.0	34.3	20.0	87.1	5.7	70
個人階級 無職層	42.0	22.0	4.0	92.0	8.0	50	53.4	38.8	16.4	88.8	1.7	116
出身 経営・管理出身	57.1	0.0	57.1	100.0	0.0	7	22.2	33.3	33.3	88.9	22.2	9
出身 自営業出身	47.6	30.1	13.9	90.4	10.2	166	51.3	41.7	16.7	91.7	2.6	156
出身 労働者出身	51.7	21.8	26.4	82.8	10.3	87	60.2	33.3	23.7	84.9	4.3	93

表６－６　移動したい理由（女性）

	生活環境が悪いから	人間関係が悪いから	別に土地や家がある	転勤があるから	転職するから	良い職場がないから	通勤に時間がかかる	結婚するから	その他	N
A.安定的経営・管理世帯	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	5
A-1.安定的経営・管理階級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
A-2.自営業層	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
A-3.安定的労働者階級	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
A-4.不安定労働者階級	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
A-5.無職層	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	3
a-1.経営・管理出身	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
a-2.自営業出身	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
a-3.労働者出身	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	3
B.不安定経営・管理世帯	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	5
B-1.不安定経営・管理階級	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
B-2.自営業層	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	2
B-3.安定的労働者階級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
B-4.不安定労働者階級	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	1
B-5.無職層	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
b-1.経営・管理出身	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	2
b-2.自営業出身	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	2
b-3.労働者出身	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
C.自営業世帯	15.4	7.7	38.5	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1	23.1	13
C-1.自営業層	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	4
C-2.安定的労働者階級	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	2
C-3.不安定労働者階級	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	3
C-4.無職層	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	4
c-1.経営・管理出身	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	1
c-2.自営業出身	20.0	10.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	10.0	10
c-3.労働者出身	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	2
D.安定的労働者世帯	25.8	9.7	16.1	19.4	9.7	3.2	6.5	0.0	25.8	31
D-1.安定的労働者階級	33.3	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	22.2	9
D-2.不安定労働者階級	38.5	7.7	15.4	7.7	15.4	7.7	0.0	0.0	38.5	13
D-3.無職層	0.0	0.0	33.3	55.6	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	9
d-1.経営・管理出身	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
d-2.自営業出身	37.5	0.0	25.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	8
d-3.労働者出身	22.7	13.6	9.1	22.7	13.6	0.0	9.1	0.0	31.8	22
E.不安定労働者世帯	38.5	7.7	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1	13
E-1.不安定労働者階級	37.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	8
E-2.無職層	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	5
e-1.経営・管理出身	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
e-2.自営業出身	42.9	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7
e-3.労働者出身	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	6
F.無職世帯	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	1
f-1.自営業出身	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
f-2.労働者出身	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	1
合　計	26.5	8.8	20.6	8.8	4.4	1.5	5.9	4.4	23.5	68
再掲 安定的経営・管理階級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
不安定経営・管理階級	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
個 自営業層	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	6
人 安定的労働者階級	25.0	25.0	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	8.3	25.0	12
階 不安定労働者階級	34.6	7.7	15.4	3.8	7.7	3.8	3.8	3.8	30.8	26
級 無職層	17.4	4.3	34.8	21.7	0.0	0.0	4.3	0.0	21.7	23
出 経営・管理出身	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	4
自営業出身	31.0	3.4	34.5	3.4	0.0	3.4	3.4	10.3	6.9	29
身 労働者出身	22.9	14.3	8.6	14.3	8.6	0.0	5.7	0.0	37.1	35

で見られた際だった特徴が弱くなる傾向が出ている。安定的経営・管理世帯の場合、定住志向が50.0%と安定的経営・管理階級より強くなり、不安定経営・管理世帯の場合、定住志向（64.3%）が不安定経営・管理階級よりも弱く、安定的労働者世帯（64.5%）なみになる。それを、個人階級で見た三つのグループに当てはめると、安定的経営・管理世帯は定住志向が個人階級よりも強まったものの、それでも定住志向の弱いグループにあたり、安定的労働者世帯、不安定労働者世帯が個人階級と同様、中間的なグループ、自営業世帯、無職世帯も個人階級と同じく定住志向の強いグループになる。しかし、不安定経営・管理世帯のみは個人階級と異なり、中間的なグループになる。したがって、それは、現実の定住の見通しが個人的な意志だけではきまらず、世帯ないし家族の意志も検討しなければ十分に明らかにならない場合があることを示唆しているといえる。なお、出身階級の場合、自営業出身（76.1%）、労働者出身（61.7%）と比べ、経営・管理出身の定住志向の弱さ（43.8%）が特徴的である。

これに対し、女性について見てみると、個人階級、世帯階級、出身階級のいずれの場合にも、ほぼすべての階級・階層で定住志向が男性をやや下回っている（1、2ケースしかない個人階級としての安定的経営・管理階級、不安定経営・管理階級を除く）。例外なのは、定住志向のある者が58.6%の安定的経営・管理世帯のみである。個人階級で「定住する」とこたえた者が８割を超える階級は存在しないし、世帯階級でも男性で6割台を切っていたのが安定的経営・管理世帯のみであったのに対し、女性では安定的経営・管理世帯、不安定経営・管理世帯、不安定労働者世帯が６割を切っている。出身階級で見ても、すべて男性よりも定住志向が弱く、とくに経営・管理出身は「定住する」とこたえた者が4割を切り、「わからない」とする者（45.8%）の方が多くなっている。

つまり、それだけ、男性と比べ、女性たちにとって太田市に魅力が少ないということかもしれない。今回の調査では必ずしも明確なことはいえないが、女性全体の移動理由として「生活環境が悪いから」をあげる者が26.5%でトップになっていることもこの点を示唆していると思われる（表６－６参照。ちなみに、男性全体では、移動理由として「生活環境が悪いから」をあげる者は17.6%である）。

これをふまえて、さらに階級間の相違についてみてみると、個人階級では、男性と同じように、自営業層と無職層に「定住する」とこたえた者が多く、安定的労働者階級と不安定労働者階級にそれが少ない。また、出身階級も経営・管理出身に定住志向の極端な弱さが見られる点で男性と同様な形をとっている。世帯階級でも、無職世帯（81.0%）と自営業世帯（74.5%）で定住志向が強く見られ、不安定経営・管理世帯（56.7%）、安定的労働者世帯（60.5%）、不安定労働者世帯（59.4%）が中間的な性格をもつ点で男性と共通の傾向が見られる。しかし、安定的経営・管理世帯の定住志向がそれほど弱くなく（58.6%）、中間的な性格を示す点で男性とは異なる傾向が見いだせる。ただし、この点を除けば、定住志向に関する階級間の相違も基本的に男性と同様な特徴を示していると考えてもよい。

その意味で、男性より女性の方が全体として定住志向が弱くなるが、定住志向に関する階級的な特徴は男女とも共通していたといえる。

第３節　仕事の継続志向

未来の労働―生活世界は、仕事の継続志向からも検討することができる。そこで、対象者のうち現在就労している者の仕事の継続志向についてまとめたものが、表６－７である。

ここから、男女とも、個人階級、世帯階級、出身階級のいずれにおいても、すべての階級・階層で「今の会社・今の職場・今の仕事を続ける」とする者がほぼ6割以上ともっとも多いことがわかる。とくに、男性の個人階級としての自営業層（84.1%）、女性の世帯階級としての安定的経営・管理世帯（85.7%）、不安定経営・管理世帯（93.3%）で現状維持志向の強さが際だっている。逆に、現状維持派が相対的に少ないのは、男性の世帯階級としての不安定労働者世帯、出身階級としての経営・管理出身、女性の世帯階級としての不安定労働者世帯であるが、それでも男性の経営・管理出身を除いて、すべてが6割に近い水準を示している。それだけ、男女、階級問わず、会社・職場・仕事に関しては現状維持志向が強いということである。

しかし、仕事の継続志向とすでに見た仕事や勤め先に対する満足度との関係や仕事の継続・断念の理由をみると、階級的な立場の違いによって、そのあり方が異なることがわかる。

つまり、男性の場合、安定的経営・管理階級／世帯では、仕事の内容、勤め先のいずれかに対して満足している者の割合（82.4%、84.2%）の方が、仕事の継続志向をもつ者（70.6%、73.7%）よりも10%ほど多くなっている。いいかえれば、この階級では、仕事や勤め先に満足しているが、何らかの事情で仕事の継続志向をもちえない人々が存在するということである。それは、仕事の継続志向をもちえない人々のうち、その理由を明確にした4ケースすべてが、「会社や景気の事情」、「老人の面倒をみる」、「転居するため」といった自発的意志以外の事情をあげている点に端的に現れている。逆にいえば、仕事の継続志向をもつ者は現在の仕事や勤め先に満足しているため、自ら望んで仕事を継続しようとしていると考えられる。事実、仕事の継続志向の理由として多くの人（75.0%、71.4%）が会社、職場、仕事のいずれかに「満足しているから」という積極的なものをあげている。したがって、この階級の場合、現在の仕事や勤め先に満足しているがゆえに積極的に仕事の継続志向をもち、そうした志向性をもちえない者は自らの意志とは異なる事情にもとづいていることが明らかになる。

これと同様、不安定経営・管理階級／世帯も仕事等に満足している者（86.4%、85.2%）の方が仕事の継続志向をもつ者（77.3%、70.4%）よりも多くなっている。しかも、仕事の継続志向や仕事等の満足度も安定的経営・管理階級／世帯とほぼ同じ程度である。しかし、この階級の場合、仕事の継続志向に関して積極的な理由をあげる者は6割を切り（58.8%、57.9%）、この点で安定的経営・管理階級／世帯とは大きく異なっている。したがって、これは、この階級に現在の仕事や勤め先に満足し、将来にわたる仕事の継続志向をもつが、必ずしも積極的な理由のみによってその志向性が支えられているわけではないことを物語っている。それは、仕事の継続志向をもつ者のうち、23.5%（不安定経営・管理階級）、21.1%（不安定経営・管理世帯）が「会社や景気の事情」を仕事の継続志向の理由としてあげている点にも示されている。反対に、現在の仕事をやめたい理由を見ると、安定的経営・管理階級／世帯と異なり、「やりたいことがあるから」（不安定経営・管理階級＝５人中２人、不安定経営・管理世帯＝８人中２人）、「良い仕事を望むから」（５人中１人、８人中２人）といった積極的な仕事の断念を目指す者が出てくる。その意味で、不安定経営・管理階級／世帯に属する人々は、現在の仕事や勤め先に満足し仕事の継続志向をもっているが、かれらの中には何らかの事情でやむをえず仕事の継続志向をもっている者が少なからず存在すること、そのため、仕事の継続志向をもちえない者の中には積極的な理由で仕事を断念しようとする者も存在することが浮き彫りになる。そこには、満足できる現在の労働世界がありながら、できればそれを超える未来を描こうとする志向性がかいま見られる。

ところが、自営業層・世帯を見ると、安定的経営・管理階級／世帯、不安定経営・管理階級／世帯とはまったく異なる傾向が現れる。仕事の内容や勤め先に対する満足度は6割台（64.4%、60.4%）しかないにもかかわらず、仕事の継続志向は個人階級、世帯階級のいずれにおいてもすべての階級の中で最高の水準を示し（84.1%、76.6%）、労働世界に関する満足度と仕事の継続志向のあり方が、安定的経営・管理階級／世帯、不安定経営・管理階級／世帯と正反対になっているのである。それは、仕事の継続志向の高さが積極的なものでなく、「良い会社がない」、「良い仕事がない」といったやむを得ない事情にもとづいている場合が少なくないことを物語っている。実際、積極的理由で仕事を継続しようと考えている者は仕事の継続志向をもつ者のうち、6割台（63.2%、60.6%）にとどまっている。したがって、仕事の継続志向をもつ者であっても、やむを得ない事情がなければ、仕事を断念する可能性が高い場合もありうる。それは、仕事を断念しようとする人々の理由のうち、「やりたいことがある」（45.5%、45.5%）、「良い仕事を望む」（27.3%、22.7%）が上位１、２位になっている点からも明らかである。その意味で、必ずしも現状に満足できず事情が許せば別の道を歩みたいが、その条件がないため何とか家業を維持しようとする者が存在する点に、この階級の大きな特徴があるといえる。

こうして、安定的経営・管理階級／世帯、不安定経営・管理階級／世帯、自営業層・世帯の場合、仕事の継続志向と労働世界に対する満足感の間にそれぞれ独特のずれが存在し、その背後にそれぞれに固有の

仕事の継続・断念に関する理由が見出された。

これに対し、安定的労働者階級／世帯、不安定労働者階級／世帯の場合、仕事の継続志向と仕事や勤め先に対する満足感がともにほぼ6割程度の水準となり、両者が相即した姿を示している。この点で、経営・管理階級／世帯や自営業層・世帯とは異なっている。しかも、現在の仕事をやめたい者の場合、安定的労働者階級／世帯では「良い職場を望むから」（34.7%、37.2%）、「良い仕事を望むから」（32.7%、32.6%）、不安定労働者階級／世帯では「良い仕事を望むから」（26.9%、33.3%）、「やりたいことがあるから」（23.1%、22.2%）、「良い会社を望むから」（19.2%、22.2%）、「良い職場を望むから」（15.4%、22.2%）といった、積極的な理由があげられている。しかし、それは、現在の仕事を断念する考え方が主体的な意志に基づいていることを必ずしも意味してはいない。むしろ、彼らがおかれた労働者としての客観的立場の問題性を浮き彫りにするものとして受けとめることもできる。しかも、仕事の継続志向の理由の場合にも、積極的なものをあげている者が、5割台にとどまっているという現実もある。仕事を変えたくても「会社や景気の事情」（安定的労働者階級／世帯＝19.5%、17.0%、不安定労働者階級／世帯＝17.4%、25.9%）があり、「良い会社がない」（安定的労働者階級／世帯＝20.7%、21.6%、不安定労働者階級／世帯＝37.0%、33.3%）ため、やむをえず現在の仕事を継続せざるを得ない者も少なくない。したがって、安定的労働者階級／世帯、不安定労働者階級／世帯の場合、仕事の継続志向と仕事や勤め先に対する満足感が相即しているものの、それが現状に満足している者が積極的に仕事の継続志向をもち、現状に満足できない者が自らの主体的な意志で自由に仕事を変える志向性をもっているわけではない。むしろ、労働者としての自らのおかれた客観的な立場の問題性が現在の仕事を断念する志向性を生み出したり、それが実現不能な時、やむを得ず現状に甘んじ、満足感を表明したりする結果をもたらしているといえる。その意味で、労働者階級／世帯の場合、自らのおかれた労働世界の問題状況と客観的な就労チャンスの存在が、結果的に仕事や勤め先の満足度と仕事の継続志向を相即させ、それを通じて、未来の労働世界のあり方が大きく規定されていると考えられる。

こうして、男性の場合、①安定的経営・管理階級／世帯のように、仕事や勤め先に対する満足感は強いが、それが必ずしも仕事の継続志向につながらない階級、②不安定経営・管理階級／世帯のように、仕事や勤め先に対する満足感は強いが、それを超える未来を築こうとする志向性の強い階級、③自営業層・世帯のように、仕事等に満足感はそれほど強くないが、それでもやむをえず家業を維持するために仕事の継続志向の強さが見られた階級、④安定的労働者階級／世帯や不安定労働者階級／世帯のように、自らのおかれた客観的な問題状況と就労チャンスのあり方によって、結果的に仕事と勤め先に対する満足感と仕事の継続志向がほぼ相即していた階級といった四つの性格の異なるグループが存在することが見出された。

一方、同一の視点で、女性を対象にして検討してみると、男性と異なり、様々な階級が二つのグループに大別される。

まず、第一のグループとして、安定的労働者階級／世帯、不安定労働者階級／世帯、自営業層・世帯があげられる。これらの階級の場合、男性の安定的労働者階級／世帯、不安定労働者階級／世帯と同様、仕事と勤め先に対する満足感と仕事の継続志向がほぼ6割台で相即している。このうち、特徴的なのは、自営業層・世帯が男性と異なり、独自の特徴をもたず、労働者階級／世帯と共通の傾向を示していることである。これは、女性の自営業層・世帯に属する人々のうち、おもに仕事の継続志向をもつ者が男性よりも少なくなったために生じた結果である。いいかえれば、女性の場合、男性のように何とかしてまで家業を維持する意識はもちえなくなっていることを物語っている（なお、女性の場合、個人階級と世帯階級の特徴が異なることが多いが、ここではその原因となる主婦層が除外され、しかも個人階級間にあまり違いが見られないため、個人階級と世帯階級の間のずれが見られない）。

第二のグループとして、安定的経営・管理世帯、不安定経営・管理世帯に属する人々があげられる。彼女たちは個人階級としては、ほとんどが自営業層か労働者階級に属している。しかし、明らかに第一のグループとは異なる傾向を示している。仕事と勤め先に対して満足感をもつ者は、第一のグループと同様、6割台（安定的経営・管理世帯＝60.0%、不安定経営・管理世帯＝68.8%）しか存在しないにもかかわら

表６－７　仕事の継続志向・仕事や勤め先の満足感・積極的理由による仕事継続志向の割合

	仕事の継続志向		仕事等に満足		N		積極的理由		N	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
A.安定的経営・管理世帯	73.7	85.7	84.2	60.0	19	14	71.4	75.0	14	12
A-1.安定的経営・管理階級	70.6	100.0	82.4	100.0	17	1	75.0	100.0	12	1
A-2.自営業層	100.0	50.0	100.0	50.0	2	2	50.0	100.0	2	1
A-3.安定的労働者階級	-	100.0	-	40.0	0	5	0.0	40.0	0	5
A-4.不安定労働者階級	-	83.3	-	71.4	0	6	0.0	100.0	0	5
a-1.経営・管理出身	100.0	-	100.0	-	2	0	50.0	0.0	2	0
a-2.自営業出身	62.5	75.0	87.5	75.0	8	4	80.0	100.0	5	3
a-3.労働者出身	77.8	90.0	77.8	54.5	9	10	71.4	66.7	7	9
B.不安定経営・管理世帯	70.4	93.3	85.2	68.8	27	15	57.9	57.1	19	14
B-1.不安定経営・管理階級	77.3	100.0	86.4	50.0	22	2	58.8	50.0	17	2
B-2.自営業層	100.0	100.0	100.0	80.0	2	4	50.0	100.0	2	4
B-3.安定的労働者階級	0.0	66.7	100.0	100.0	1	3	0.0	100.0	0	2
B-4.不安定労働者階級	0.0	100.0	50.0	50.0	2	6	0.0	16.7	0	6
b-1.経営・管理出身	33.3	100.0	66.7	100.0	3	2	0.0	100.0	1	2
b-2.自営業出身	66.7	87.5	86.7	66.7	15	8	50.0	42.9	10	7
b-3.労働者出身	88.9	100.0	88.9	60.0	9	5	75.0	60.0	8	5
C.自営業世帯	76.6	68.2	60.4	64.2	94	66	60.6	65.1	71	43
C-1.自営業層	83.1	70.7	62.3	64.3	65	41	64.2	66.7	53	27
C-2.安定的労働者階級	55.6	85.7	62.5	71.4	18	7	50.0	50.0	10	6
C-3.不安定労働者階級	72.7	55.6	45.5	61.1	11	18	50.0	70.0	8	10
c-1.経営・管理出身	-	50.0	-	100.0	0	2	0.0	100.0	0	1
c-2.自営業出身	73.7	71.1	62.8	62.2	76	45	67.3	70.0	55	30
c-3.労働者出身	88.9	63.2	50.0	65.0	18	19	37.5	50.0	16	12
D.安定的労働者世帯	67.2	64.0	65.2	62.0	131	100	54.5	46.9	88	64
D-1.安定的労働者階級	65.8	69.8	65.8	65.9	117	43	55.8	60.0	77	30
D-2.不安定労働者階級	78.6	59.6	60.0	58.9	14	57	45.5	35.3	11	34
d-1.経営・管理出身	33.3	40.0	33.3	80.0	9	5	0.0	50.0	3	2
d-2.自営業出身	77.8	69.2	73.4	63.2	63	39	59.2	37.0	49	27
d-3.労働者出身	61.0	62.5	61.0	59.6	59	56	52.8	54.3	36	35
E.不安定労働者世帯	58.7	59.0	60.0	48.6	46	39	59.3	60.9	27	23
E-1.不安定労働者階級	58.7	59.0	60.0	48.6	46	39	59.3	60.9	27	23
e-1.経営・管理出身	100.0	100.0	100.0	50.0	1	2	100.0	50.0	1	2
e-2.自営業出身	56.5	66.7	59.1	46.7	23	15	69.2	50.0	13	10
e-3.労働者出身	59.1	50.0	59.1	50.0	22	22	46.2	72.7	13	11
合　計	69.4	67.5	65.8	60.9	317	234	58.4	57.1	219	156
再掲個人階級 安定的経営・管理階級	70.6	100.0	82.4	100.0	17	1	75.0	100.0	12	1
再掲個人階級 不安定経営・管理階級	77.3	100.0	86.4	50.0	22	2	58.8	50.0	17	2
再掲個人階級 自営業層	84.1	72.3	64.4	65.3	69	47	63.2	71.9	57	32
再掲個人階級 安定的労働者階級	64.0	74.1	65.7	66.1	136	58	55.2	58.1	87	43
再掲個人階級 不安定労働者階級	63.0	61.9	57.5	56.5	73	126	54.3	50.0	46	78
出身 経営・管理出身	46.7	63.6	53.3	81.8	15	11	28.6	71.4	7	7
出身 自営業出身	71.9	71.2	69.0	61.3	185	111	63.6	54.5	132	77
出身 労働者出身	68.4	64.3	62.4	58.4	117	112	52.5	58.3	80	72

注）1.「仕事の継続志向」は働いている人の中で「今の会社・今の職場・今の仕事を続ける」とこたえた者の割合。
2.「仕事等に満足」は働いている人の中で「仕事の内容」か「勤め先」に「満足している」「どちらかといえば満足している」とこたえた者の割合。
3.「積極的理由」は「仕事の継続志向」をもつ人の中で、その理由として会社、職場、仕事のいずれかに「満足しているから」とこたえた者の割合。

ず、仕事の継続志向が安定的経営・管理世帯で85.7%、不安定経営・管理世帯で93.3%ときわめて高いからである。その場合、安定的経営・管理世帯に属する女性たちのうち、仕事の継続志向をもつ者の多く（75.0%）は、仕事や職場ないし会社に満足しているからという積極的な理由に基づいている。しかし、不安定経営・管理世帯の女性たちの場合、積極的な理由で仕事の継続志向をもつ者（57.1%）は必ずしも多くない。しかも、安定的経営・管理世帯、不安定経営・管理世帯のいずれの場合にも、仕事や勤め先に満足していなくても、仕事の継続志向をもっている者が数多く存在している。彼女たちのほとんどは明らかに世帯の主たる家計支持者ではなく、配偶者か他の男性世帯員が安定的経営・管理階級である。それを考慮に入れると、仕事や勤め先に満足していないのに働き続ける必要性は経済的な観点からいえば、それほど高くないと思われる。そう考えると、彼女たちの仕事の継続志向性の高さを支えるのは、仕事内容、職場ないし会社のあり方を含めた経済的な必要性以外の要因しかありえない。それは、家庭に束縛されない開放感かもしれないし、家庭にいるともてあましてしまう時間の有効利用なのかもしれない。ただし、今回の調査では、これ以上検討する材料は得られない。しかし、いずれにしても、このグループの傾向は、男性には見いだせないものであることは否定できない。その意味で、この点にも、階級分析にとって、ジェンダーの視点が不可欠に必要になることが示されているといえる。

以上のように、未来の労働生活の描き方は男女別階級別にずいぶん異なっていた。それは、男女の違い、階級の違いが労働―生活世界の客観的な構造を規定するだけでなく、未来の労働―生活世界の違いをも生み出すことによって、将来の現実的な労働―生活世界の客観構造が新しい形での男女間階級間の相違を刻印したものとして構築される可能性を示している。その意味で、未来の労働―生活世界のあり方はあくまでも主観的なものにすぎないが、決して無視してはならない重要性をもっているといえる。

第４節　社会の将来像

これまで、階級・階層の将来展望として、子どもへの学歴期待、定住志向、仕事の継続志向についてみてきた。これらは、未来の労働―生活世界に属する個人的な将来展望である。しかし、未来の労働―生活世界は個人をとりまく未来の社会のあり方によって大きく規定されることも忘れてはならない。それは、社会の将来像といえるものに他ならない。

階級・階層の将来展望の最後として、対象者たちがこうした意味を持つ社会の将来像をどのように捉えているのかを明らかにしてみよう。その際、具体的には、国際化、情報化、男女の関係、平等、競争、個人の６つの将来像について検討していく。

まず、表６－８から、国際化の展望に関する考え方を見ると、男性の場合、個人階級、世帯階級、出身階級のいずれにおいても、すべての階級で今後は「国際化が進み、国をこえた友好がひろがる」と肯定的な見方をする者がほぼ5、6割台、女性の場合、ほぼ4、5割台となっている。その中で、男性の安定的経営・管理階級／世帯（64.7%、65.0%）と個人階級としての自営業層（67.6%）に肯定的な見方が相対的に多いのが目につく。逆に、「国家間や民族間の争いが増える」という否定的な見方をする者は男女とも多くの階級で1、2割台にとどまっている。たしかに、どの階級の場合も「どちらともいえない」とする者が2、3割存在し、女性の不安定労働者世帯のように肯定的な見方と否定的な見方が同一の割合（33.9%）になっている場合もある。また、不安定労働者世帯に属する女性の不安定労働者階級のように、否定的な見方（35.9%）の方が肯定的な見方（25.6%）より多い場合も見られる。しかし、これ以外には、否定的な見方が肯定的な見方を上回るような階級は個人階級、世帯階級、出身階級いずれを見てもまったく存在しない。ここから、男女、階級の別なく、多くの場合、基本的に今後の国際化の進展が社会にとって望ましい状態を生み出すという将来像を思い描いていることがわかる。これは、外国人労働者が数多く居住するようになっている太田市の現実が、ヨーロッパ諸国とは異なり、必ずしも各階級にとってそれほど大きな脅威になっていないこととも関連があると思われる（ただし、この調査では、太田市に居住する外国人居住者への評価や具体的な接触のあり方については聞いていないので、この点に関しては、今後の課題としたい）。

表６－８　国際化の展望に関する考え方

	男性				女性			
	友好が広がる	争いが増える	どちらとも	N	友好が広がる	争いが増える	どちらとも	N
A.安定的経営・管理世帯	65.0	10.0	25.0	20	51.7	13.8	34.5	29
A-1.安定的経営・管理階級	64.7	11.8	23.5	17	100.0	0.0	0.0	1
A-2.自営業層	100.0	0.0	0.0	2	50.0	0.0	50.0	2
A-3.安定的労働者階級	-	-	-	0	60.0	0.0	40.0	5
A-4.不安定労働者階級	-	-	-	0	57.1	14.3	28.6	7
A-5.無職層	0.0	0.0	100.0	1	42.9	21.4	35.7	14
a-1.経営・管理出身	33.3	0.0	66.7	3	0.0	50.0	50.0	2
a-2.自営業出身	87.5	0.0	12.5	8	45.5	18.2	36.4	11
a-3.労働者出身	55.6	22.2	22.2	9	62.5	6.3	31.3	16
B.不安定経営・管理世帯	51.9	33.3	14.8	27	46.7	13.3	40.0	30
B-1.不安定経営・管理階級	52.4	33.3	14.3	21	100.0	0.0	0.0	2
B-2.自営業層	50.0	0.0	50.0	2	40.0	0.0	60.0	5
B-3.安定的労働者階級	100.0	0.0	0.0	1	33.3	33.3	33.3	3
B-4.不安定労働者階級	0.0	100.0	0.0	2	33.3	0.0	66.7	6
B-5.無職層	100.0	0.0	0.0	1	50.0	21.4	28.6	14
b-1.経営・管理出身	33.3	66.7	0.0	3	80.0	0.0	20.0	5
b-2.自営業出身	53.3	33.3	13.3	15	38.9	16.7	44.4	18
b-3.労働者出身	55.6	22.2	22.2	9	42.9	14.3	42.9	7
C.自営業世帯	56.7	21.2	22.1	104	49.0	16.3	34.6	104
C-1.自営業層	67.2	14.9	17.9	67	52.4	23.8	23.8	42
C-2.安定的労働者階級	38.9	27.8	33.3	18	42.9	0.0	57.1	7
C-3.不安定労働者階級	36.4	45.5	18.2	11	44.4	5.6	50.0	18
C-4.無職層	37.5	25.0	37.5	8	48.6	16.2	35.1	37
c-1.経営・管理出身	-	-	-	0	28.6	0.0	71.4	7
c-2.自営業出身	57.3	18.3	24.4	82	52.1	19.2	28.8	73
c-3.労働者出身	54.5	31.8	13.6	22	45.8	12.5	41.7	24
D.安定的労働者世帯	51.0	26.2	22.8	149	51.3	18.1	30.6	160
D-1.安定的労働者階級	51.3	28.2	20.5	117	47.7	18.2	34.1	44
D-2.不安定労働者階級	35.7	35.7	28.6	14	48.3	19.0	32.8	58
D-3.無職層	61.1	5.6	33.3	18	56.9	17.2	25.9	58
d-1.経営・管理出身	66.7	22.2	11.1	9	28.6	28.6	42.9	7
d-2.自営業出身	53.4	27.4	19.2	73	53.1	17.2	29.7	64
d-3.労働者出身	46.3	25.4	28.4	67	51.7	18.0	30.3	89
E.不安定労働者世帯	51.0	19.6	29.4	51	33.9	33.9	32.3	62
E-1.不安定労働者階級	52.3	20.5	27.3	44	25.6	35.9	38.5	39
E-2.無職層	42.9	14.3	42.9	7	47.8	30.4	21.7	23
e-1.経営・管理出身	0.0	100.0	0.0	1	66.7	0.0	33.3	3
e-2.自営業出身	63.0	7.4	29.6	27	38.7	29.0	32.3	31
e-3.労働者出身	39.1	30.4	30.4	23	25.0	42.9	32.1	28
F.無職世帯	47.6	19.0	33.3	21	41.2	11.8	47.1	17
f-1.自営業出身	53.8	15.4	30.8	13	50.0	0.0	50.0	10
f-2.労働者出身	37.5	25.0	37.5	8	28.6	28.6	42.9	7
合計	53.2	23.1	23.7	372	47.3	19.2	33.6	402
再掲 個人階級 安定的経営・管理階級	64.7	11.8	23.5	17	100.0	0.0	0.0	1
再掲 個人階級 不安定経営・管理階級	52.4	33.3	14.3	21	100.0	0.0	0.0	2
再掲 個人階級 自営業層	67.6	14.1	18.3	71	51.0	20.4	28.6	49
再掲 個人階級 安定的労働者階級	50.0	27.9	22.1	136	47.5	15.3	37.3	59
再掲 個人階級 不安定労働者階級	45.1	29.6	25.4	71	40.6	21.1	38.3	128
再掲 個人階級 無職層	50.0	14.3	35.7	56	50.3	19.0	30.7	163
再掲 出身 経営・管理出身	50.0	31.3	18.8	16	41.7	12.5	45.8	24
再掲 出身 自営業出身	57.3	20.2	22.5	218	48.8	18.8	32.4	207
再掲 出身 労働者出身	47.1	26.8	26.1	138	46.2	20.5	33.3	171

これに対し、情報化の展望に関する考え方を見ると（表６－９）、国際化の場合と反対に、否定的な見方が多数派になる。男性全体で情報化の進展によって「情報に強い人と弱い人の間に溝ができる」と否定的にこたえた者が63.7%で、「情報化によって快適な社会になる」と肯定的にこたえた者（15.6%）を大きく上回っている。女性全体の場合、「どちらともいえない」が男性より増えるため否定的な見方は53.0%になる。しかし、肯定的な見方は男性全体とほぼ同様の水準（16.3%）にとどまり、否定的な見方が支配的であることに変わりはない。

ただし、情報化の展望に否定的な見方をする者の割合は、階級的な立場の違いによって、ずいぶんと異なっている。

男性の場合には、安定的経営・管理階級／世帯に否定的な見方をする者が少なく（35.3%、40.0%）、「快適になる」と明確にこたえる者も29.4%、30.0%と各階級で最高になっている。これに対し、不安定労働者階級／世帯（77.8%、78.8%）や労働者出身者（71.7%）に否定的な者が多い。とくに不安定労働者世帯に属する不安定労働者階級に否定的な者が際だって多い（84.4%）。そして、他の階級の場合、否定的な見方をする者がほぼ6割台で、中間的な位置を占めている。もちろん、この結果は、一方で、階級によってコンピュータをはじめとする情報機器に対する習熟度の違いがあることにもとづいていると考えることができる。だが、他方で、それ以上に、情報機器の習熟度とは直接関係なく、安定的経営・管理階級の場合、コンピュータが不可欠になっている大企業の経営・管理的な立場にあり、反対に、不安定労働者階級の場合、コンピュータの導入が直接自らの就業形態の変化や失業につながるおそれがあるといった、客観的な階級的立場それ自体に起因した結果であると考えた方が現実的である。不安定労働者階級の中でも、自らが基本的に主たる家計支持者としての位置をしめる不安定労働者世帯に属する者たちにとくに否定的な見方が強くなっているのは、この点を反映していると考えられる。彼らにとって、職場における情報化の進展が世帯そのものの経済的基盤を脅かしかねない意味をもっているからである。

一方、女性の場合、男性と異なり、無職世帯（29.4%）や自営業層・世帯（40.8%、41.3%）に否定的な見方をする者が他の諸階級と比べ少なくなっている点が特徴的である。しかし、これらの階級の場合、「どちらともいえない」とこたえた者の割合が高く、肯定的な意見もそれほど多くないため、否定的な見方をする者の少なさは、情報化の動きそのものに判断が下せないことを意味していると考える必要がある。したがって、女性の場合、情報化の展望に関する考え方の階級差は、情報化に肯定的な見方と否定的な見方の違いではなく、情報化の動きそのものに判断を下せるかどうかの違いにもとづいているといえる。

次に、男女の関係の展望に関する考え方を見ると、表６－１０のように、男性の場合、個人階級、世帯階級、出身階級のいずれにおいても、階級間の相違が見られる。個人階級では、安定的経営・管理階級、不安定経営・管理階級、自営業層、安定的労働者階級と不安定労働者階級、無職層との間に、大きな違いがある。前者に属する４つの階級では、今後「男女は多くの面で対等な立場になる」と進歩的な見方をする者が5割台であるのに対し、後者の２つの階級では、こうした見方をする者は3割台にとどまり、むしろ「男女の役割分担は維持される」という現状維持的な見方の方が4割台と多くなる。世帯階級になると、個人階級で進歩的な見方をする者が多かった階級に対応する４つの世帯階級間にも差が見られ、進歩的な見方をする者の割合はトップの安定的経営・管理世帯（60.0%）から不安定経営・管理世帯（55.6%）→自営業世帯（51.4%）→安定的経営・管理世帯（43.0%）の順に確実に減少している。そして、それに続く形で、不安定労働者世帯（37.7%）と無職世帯（33.3%）が位置づいている。また、出身階級では、進歩的な見方をする者が自営業出身と労働者出身で4割台であるのに対し、経営・管理出身では68.8%に達している。こうして、いかなる出身階級に生まれ育ったかによって、また現在の個人的な階級的立場や世帯の階級的なあり方によって、男女間の関係についての展望が異なっている。もちろん、その背後に、性別役割分業観の階級的な違いが少なからず反映していると考えることもできる。したがって、ここで見られた事実は、たんなる将来予測の階級差にとどまらず、各世帯階級の性別役割分業観の違いを内包している可能性が高く、将来の性別分業のあり方が階級的に異なる結果になる可能性の高さを示唆するものでもある。

表６－９　情報化の展望に関する考え方

	男性				女性			
	快適になる	溝ができる	どちらとも	N	快適になる	溝ができる	どちらとも	N
A.安定的経営・管理世帯	30.0	40.0	30.0	20	13.8	62.1	24.1	29
A-1.安定的経営・管理階級	29.4	35.3	35.3	17	100.0	0.0	0.0	1
A-2.自営業層	50.0	50.0	0.0	2	0.0	50.0	50.0	2
A-3.安定的労働者階級	-	-	-	0	0.0	60.0	40.0	5
A-4.不安定労働者階級	-	-	-	0	28.6	57.1	14.3	7
A-5.無職層	0.0	100.0	0.0	1	7.1	71.4	21.4	14
a-1.経営・管理出身	33.3	33.3	33.3	3	0.0	50.0	50.0	2
a-2.自営業出身	25.0	50.0	25.0	8	18.2	72.7	9.1	11
a-3.労働者出身	33.3	33.3	33.3	9	12.5	56.3	31.3	16
B.不安定経営・管理世帯	11.1	66.7	22.2	27	10.0	63.3	26.7	30
B-1.不安定経営・管理階級	9.5	66.7	23.8	21	50.0	0.0	50.0	2
B-2.自営業層	0.0	50.0	50.0	2	0.0	60.0	40.0	5
B-3.安定的労働者階級	0.0	100.0	0.0	1	0.0	33.3	66.7	3
B-4.不安定労働者階級	50.0	50.0	0.0	2	0.0	100.0	0.0	6
B-5.無職層	0.0	100.0	0.0	1	14.3	64.3	21.4	14
b-1.経営・管理出身	33.3	66.7	0.0	3	40.0	60.0	0.0	5
b-2.自営業出身	0.0	73.3	26.7	15	5.6	61.1	33.3	18
b-3.労働者出身	22.2	55.6	22.2	9	0.0	71.4	28.6	7
C.自営業世帯	16.3	59.6	24.0	104	20.2	41.3	38.5	104
C-1.自営業層	14.7	60.3	25.0	68	23.8	38.1	38.1	42
C-2.安定的労働者階級	33.3	50.0	16.7	18	14.3	42.9	42.9	7
C-3.不安定労働者階級	9.1	72.7	18.2	11	16.7	50.0	33.3	18
C-4.無職層	0.0	57.1	42.9	7	18.9	40.5	40.5	37
c-1.経営・管理出身	-	-	-	0	14.3	42.9	42.9	7
c-2.自営業出身	20.7	52.4	26.8	82	20.5	43.8	35.6	73
c-3.労働者出身	0.0	86.4	13.6	22	20.8	33.3	45.8	24
D.安定的労働者世帯	18.2	64.2	17.6	148	15.9	59.2	24.8	157
D-1.安定的労働者階級	17.1	65.0	17.9	117	22.7	56.8	20.5	44
D-2.不安定労働者階級	21.4	64.3	14.3	14	13.8	56.9	29.3	58
D-3.無職層	23.5	58.8	17.6	17	12.7	63.6	23.6	55
d-1.経営・管理出身	33.3	55.6	11.1	9	0.0	57.1	42.9	7
d-2.自営業出身	20.8	59.7	19.4	72	20.6	57.1	22.2	63
d-3.労働者出身	13.4	70.1	16.4	67	13.8	60.9	25.3	87
E.不安定労働者世帯	5.8	78.8	15.4	52	12.7	54.0	33.3	63
E-1.不安定労働者階級	4.4	84.4	11.1	45	7.7	48.7	43.6	39
E-2.無職層	14.3	42.9	42.9	7	20.8	62.5	16.7	24
e-1.経営・管理出身	0.0	100.0	0.0	1	33.3	33.3	33.3	3
e-2.自営業出身	3.6	75.0	21.4	28	12.5	59.4	28.1	32
e-3.労働者出身	8.7	82.6	8.7	23	10.7	50.0	39.3	28
F.無職世帯	9.5	61.9	28.6	21	23.5	29.4	47.1	17
f-1.自営業出身	15.4	53.8	30.8	13	20.0	10.0	70.0	10
f-2.労働者出身	0.0	75.0	25.0	8	28.6	57.1	14.3	7
合計	15.6	63.7	20.7	372	16.3	53.0	30.8	400
再掲 安定的経営・管理階級	29.4	35.3	35.3	17	100.0	0.0	0.0	1
再掲 不安定経営・管理階級	9.5	66.7	23.8	21	50.0	0.0	50.0	2
個人階級 自営業層	15.3	59.7	25.0	72	20.4	40.8	38.8	49
個人階級 安定的労働者階級	19.1	63.2	17.6	136	18.6	54.2	27.1	59
個人階級 不安定労働者階級	9.7	77.8	12.5	72	12.5	55.5	32.0	128
個人階級 無職層	13.0	59.3	27.8	54	16.1	55.3	28.6	161
出身 経営・管理出身	31.3	56.3	12.5	16	16.7	50.0	33.3	24
出身 自営業出身	17.0	59.2	23.9	218	17.9	51.7	30.4	207
出身 労働者出身	11.6	71.7	16.7	138	14.2	55.0	30.8	169

表６－１０　男女の関係の展望に関する考え方

	男性				女性			
	対等になる	役割分担維持	どちらとも	N	対等になる	役割分担維持	どちらとも	N
A.安定的経営・管理世帯	60.0	20.0	20.0	20	65.5	27.6	6.9	29
A-1.安定的経営・管理階級	58.8	23.5	17.6	17	100.0	0.0	0.0	1
A-2.自営業層	100.0	0.0	0.0	2	100.0	0.0	0.0	2
A-3.安定的労働者階級	-	-	-	0	80.0	20.0	0.0	5
A-4.不安定労働者階級	-	-	-	0	71.4	28.6	0.0	7
A-5.無職層	0.0	0.0	100.0	1	50.0	35.7	14.3	14
a-1.経営・管理出身	33.3	0.0	66.7	3	0.0	100.0	0.0	2
a-2.自営業出身	62.5	25.0	12.5	8	54.5	27.3	18.2	11
a-3.労働者出身	66.7	22.2	11.1	9	81.3	18.8	0.0	16
B.不安定経営・管理世帯	55.6	29.6	14.8	27	33.3	40.0	26.7	30
B-1.不安定経営・管理階級	52.4	28.6	19.0	21	0.0	50.0	50.0	2
B-2.自営業層	100.0	0.0	0.0	2	60.0	20.0	20.0	5
B-3.安定的労働者階級	100.0	0.0	0.0	1	0.0	66.7	33.3	3
B-4.不安定労働者階級	50.0	50.0	0.0	2	33.3	50.0	16.7	6
B-5.無職層	0.0	100.0	0.0	1	35.7	35.7	28.6	14
b-1.経営・管理出身	66.7	33.3	0.0	3	80.0	20.0	0.0	5
b-2.自営業出身	60.0	26.7	13.3	15	22.2	38.9	38.9	18
b-3.労働者出身	44.4	33.3	22.2	9	28.6	57.1	14.3	7
C.自営業世帯	51.4	25.7	22.9	105	40.4	34.6	25.0	104
C-1.自営業層	50.0	25.0	25.0	68	39.0	36.6	24.4	41
C-2.安定的労働者階級	61.1	22.2	16.7	18	71.4	28.6	0.0	7
C-3.不安定労働者階級	36.4	45.5	18.2	11	50.0	11.1	38.9	18
C-4.無職層	62.5	12.5	25.0	8	31.6	44.7	23.7	38
c-1.経営・管理出身	-	-	-	0	42.9	42.9	14.3	7
c-2.自営業出身	52.4	26.8	20.7	82	37.0	38.4	24.7	73
c-3.労働者出身	47.8	21.7	30.4	23	50.0	20.8	29.2	24
D.安定的労働者世帯	43.0	40.3	16.8	149	42.4	27.2	30.4	158
D-1.安定的労働者階級	47.9	34.2	17.9	117	43.2	20.5	36.4	44
D-2.不安定労働者階級	21.4	57.1	21.4	14	39.7	34.5	25.9	58
D-3.無職層	27.8	66.7	5.6	18	44.6	25.0	30.4	56
d-1.経営・管理出身	88.9	11.1	0.0	9	57.1	0.0	42.9	7
d-2.自営業出身	35.6	45.2	19.2	73	49.2	25.4	25.4	63
d-3.労働者出身	44.8	38.8	16.4	67	36.4	30.7	33.0	88
E.不安定労働者世帯	37.7	45.3	17.0	53	41.9	35.5	22.6	62
E-1.不安定労働者階級	39.1	47.8	13.0	46	36.8	31.6	31.6	38
E-2.無職層	28.6	28.6	42.9	7	50.0	41.7	8.3	24
e-1.経営・管理出身	0.0	100.0	0.0	1	0.0	33.3	66.7	3
e-2.自営業出身	37.9	41.4	20.7	29	51.6	32.3	16.1	31
e-3.労働者出身	39.1	47.8	13.0	23	35.7	39.3	25.0	28
F.無職世帯	33.3	38.1	28.6	21	50.0	12.5	37.5	16
f-1.自営業出身	38.5	30.8	30.8	13	66.7	0.0	33.3	9
f-2.労働者出身	25.0	50.0	25.0	8	28.6	28.6	42.9	7
合計	45.9	34.9	19.2	375	43.1	30.8	26.1	399
再掲 安定的経営・管理階級	58.8	23.5	17.6	17	100.0	0.0	0.0	1
再掲 不安定経営・管理階級	52.4	28.6	19.0	21	0.0	50.0	50.0	2
個人階級 自営業層	52.8	23.6	23.6	72	43.8	33.3	22.9	48
個人階級 安定的労働者階級	50.0	32.4	17.6	136	47.5	23.7	28.8	59
個人階級 不安定労働者階級	35.6	49.3	15.1	73	41.7	30.7	27.6	127
個人階級 無職層	33.9	42.9	23.2	56	42.6	32.7	24.7	162
出身 経営・管理出身	68.8	18.8	12.5	16	45.8	29.2	25.0	24
出身 自営業出身	45.0	35.0	20.0	220	43.9	31.2	24.9	205
出身 労働者出身	44.6	36.7	18.7	139	41.8	30.6	27.6	170

これに対し、女性の場合、男性とは異なる傾向が見られる。それは、個人階級、出身階級では、いずれの階級も「男女が対等になる」とこたえた者の割合がすべて4割台になっており、階級差が見られない点に現れている。しかし、世帯階級を見ると、安定的経営・管理世帯と不安定経営・管理世帯、さらにそれ以外の世帯階級といった３つのグループの間で「男女が対等になる」とこたえた者の割合が明らかに異なっている。安定的経営・管理世帯に属する女性たちは、65.5%の者が今後「男女が対等になる」とこたえ、これと対照的に、不安定経営・管理世帯でそうこたえた者は33.3%しか存在しない。不安定経営・管理世帯では、むしろ「役割分担が維持される」とする者の方が40.0%で多数派になっている。同じ経営・管理世帯に属していても、両者の間には大きな違いが見いだせる。そして、この両者の中間にそれ以外の世帯階級が存在している。これらの世帯階級では、「男女が対等になる」とこたえる者が多数派であるが、その割合は、無職世帯がちょうど5割である以外は、すべて4割台にとどまっている。

したがって、男女の結果をつきあわせてみると、とくに不安定経営・管理世帯で男女の見方の違いが著しくなっている。もちろん、今回の調査は、個人を単位にしたものであり、同一世帯に属する男女が対象になっているわけではないので、この結果から、同一世帯階級における男女の見方の相違を議論することはできない。しかし、少なくとも、男女の性別役割分業観を背景にもつ男女の将来の関係についての見方は、階級的な立場によって明らかに異なるだけでなく、同一世帯の中で暮らしていても、男女間で大きく異なることがありうることを示唆している。しかも、そうした現実が存在する場合、夫婦間の関係に少なからぬ軋轢が生じる可能性が高くなるため、この点に関する議論は今後重要な検討課題になるといえる。

続いて、経済的な平等のあり方に関する展望について見てみると、表６－１１のようになる。男性では、個人階級、世帯階級とも多くの階級でほぼ4割台から5割台の者が、「日本の社会は貧富の差が激しくなる」とこたえている。ただし、「どちらともいえない」もほぼ3割台から4割台もあり、この点に関する明確な将来像を予測しえない者も多い。これに対し、女性の場合、「どちらともいえない」がどの階級でも、ほぼ5割を超え、将来の予測ができない姿が示されている。その中にあって、安定的経営・管理階級／世帯の男性だけは、「格差が激しくなる」とこたえる者が３割を切っている（29.4%、25.0%）。しかも、安定的経営・管理世帯の男性の場合、「日本は経済的に平等な社会になる」とこたえる者が30.0%とむしろ「格差が激しくなる」とする者を上回るようになっている。他の個人階級、世帯階級で「平等になる」とこたえる者は男女ともにほぼ１割台で、多くともせいぜい2割にとどまっている点を考えると、きわめて特徴的である。経済的にもっとも豊かである安定的経営・管理階級／世帯の男性が経済的な格差にもっとも楽観的であるということである。無職世帯以外でもっとも経済的に不利な不安定労働者世帯の男性のうち、52.8%が「格差が激しくなる」とこたえているのと対照的である。しかも、安定的経営・管理階級／世帯の男性が経済的な格差に楽観的であることは、たんに将来の社会の予測についてだけではないことも忘れてはならない。すでに見たように、安定的経営・管理階級／世帯に属する多くの人々が自らの暮らし向きを「中の中」とこたえていたことをふまえると、現時点においても、社会における経済的な格差はあまり意識されていないと考えられる。その意味で、もっとも経済的に豊かな安定的経営・管理階級／世帯が現在と未来にわたって日本が平等な社会であるという認識をもっているといえる。そのため、こうした彼らの認識は、他の階級に属する人々が心配する貧富の差の拡大という事態を阻止するうえで一定の障害になる可能性があるといわざるをえない。

しかも、こうした傾向は、競争に関する展望の場合にもあてはまる（表６－１２）。競争の今後のあり方について「競争が盛んになって社会が発展する」、「競争が激しくなって、息苦しくなる」、「どちらともいえない」のいずれかから選択した結果を見ると、男性のうち、安定的経営・管理階級／世帯以外では、ほぼ4、5割が「息苦しくなる」になっている。中には、不安定経営・管理階級のように、66.7%の者がそうこたえている場合も見られる。逆に、「社会が発展する」とする者の割合は、1、2割にとどまっている。これに対し、安定的経営・管理階級／世帯の場合、「どちらともいえない」が5割もいるので、「社会が発展する」も「息苦しくなる」も、まったく同じく23.5%（個人階級）、25.0%（世帯階級）しかいない。しかし、「社会が発展する」とこたえた者の割合は、すべての個人階級や世帯階級の中でトッ

表６－１１　平等の展望に関する考え方

	男性				女性			
	平等になる	格差が広がる	どちらとも	N	平等になる	格差が広がる	どちらとも	N
A.安定的経営・管理世帯	30.0	25.0	45.0	20	13.8	24.1	62.1	29
A-1.安定的経営・管理階級	23.5	29.4	47.1	17	0.0	100.0	0.0	1
A-2.自営業層	100.0	0.0	0.0	2	0.0	0.0	100.0	2
A-3.安定的労働者階級	-	-	-	0	0.0	40.0	60.0	5
A-4.不安定労働者階級	-	-	-	0	57.1	0.0	42.9	7
A-5.無職層	0.0	0.0	100.0	1	0.0	28.6	71.4	14
a-1.経営・管理出身	33.3	0.0	66.7	3	0.0	50.0	50.0	2
a-2.自営業出身	12.5	50.0	37.5	8	18.2	18.2	63.6	11
a-3.労働者出身	44.4	11.1	44.4	9	12.5	25.0	62.5	16
B.不安定経営・管理世帯	18.5	40.7	40.7	27	13.3	26.7	60.0	30
B-1.不安定経営・管理階級	14.3	38.1	47.6	21	0.0	0.0	100.0	2
B-2.自営業層	50.0	50.0	0.0	2	20.0	20.0	60.0	5
B-3.安定的労働者階級	100.0	0.0	0.0	1	0.0	33.3	66.7	3
B-4.不安定労働者階級	0.0	50.0	50.0	2	33.3	16.7	50.0	6
B-5.無職層	0.0	100.0	0.0	1	7.1	35.7	57.1	14
b-1.経営・管理出身	0.0	33.3	66.7	3	20.0	0.0	80.0	5
b-2.自営業出身	20.0	33.3	46.7	15	5.6	33.3	61.1	18
b-3.労働者出身	22.2	55.6	22.2	9	28.6	28.6	42.9	7
C.自営業世帯	17.1	50.5	32.4	105	14.7	33.3	52.0	102
C-1.自営業層	17.6	51.5	30.9	68	19.5	29.3	51.2	41
C-2.安定的労働者階級	5.6	38.9	55.6	18	0.0	42.9	57.1	7
C-3.不安定労働者階級	36.4	54.5	9.1	11	5.6	33.3	61.1	18
C-4.無職層	12.5	62.5	25.0	8	16.7	36.1	47.2	36
c-1.経営・管理出身	-	-	-	0	16.7	33.3	50.0	6
c-2.自営業出身	18.3	48.8	32.9	82	18.1	37.5	44.4	72
c-3.労働者出身	13.0	56.5	30.4	23	4.2	20.8	75.0	24
D.安定的労働者世帯	14.3	43.5	42.2	147	17.0	28.9	54.1	159
D-1.安定的労働者階級	11.2	43.1	45.7	116	18.2	31.8	50.0	44
D-2.不安定労働者階級	14.3	50.0	35.7	14	19.0	25.9	55.2	58
D-3.無職層	35.3	41.2	23.5	17	14.0	29.8	56.1	57
d-1.経営・管理出身	22.2	33.3	44.4	9	14.3	14.3	71.4	7
d-2.自営業出身	12.5	48.6	38.9	72	21.9	28.1	50.0	64
d-3.労働者出身	15.2	39.4	45.5	66	13.6	30.7	55.7	88
E.不安定労働者世帯	15.1	52.8	32.1	53	12.9	40.3	46.8	62
E-1.不安定労働者階級	15.2	54.3	30.4	46	7.9	44.7	47.4	38
E-2.無職層	14.3	42.9	42.9	7	20.8	33.3	45.8	24
e-1.経営・管理出身	0.0	100.0	0.0	1	0.0	33.3	66.7	3
e-2.自営業出身	17.2	55.2	27.6	29	25.0	43.8	31.3	32
e-3.労働者出身	13.0	47.8	39.1	23	0.0	37.0	63.0	27
F.無職世帯	14.3	38.1	47.6	21	11.8	5.9	82.4	17
f-1.自営業出身	23.1	30.8	46.2	13	20.0	0.0	80.0	10
f-2.労働者出身	0.0	50.0	50.0	8	0.0	14.3	85.7	7
合計	16.4	45.3	38.3	373	15.0	30.3	54.6	399
再掲 安定的経営・管理階級	23.5	29.4	47.1	17	0.0	100.0	0.0	1
再掲 不安定経営・管理階級	14.3	38.1	47.6	21	0.0	0.0	100.0	2
個人階級 自営業層	20.8	50.0	29.2	72	18.8	27.1	54.2	48
個人階級 安定的労働者階級	11.1	42.2	46.7	135	13.6	33.9	52.5	59
個人階級 不安定労働者階級	17.8	53.4	28.8	73	16.5	30.7	52.8	127
個人階級 無職層	20.0	43.6	36.4	55	13.6	29.6	56.8	162
出身 経営・管理出身	18.8	31.3	50.0	16	13.0	21.7	65.2	23
出身 自営業出身	16.4	47.5	36.1	219	19.3	32.4	48.3	207
出身 労働者出身	15.9	43.5	40.6	138	10.1	29.0	60.9	169

表６－１２　競争の展望に関する考え方

	男性				女性			
	社会が発展	息苦しくなる	どちらとも	N	社会が発展	息苦しくなる	どちらとも	N
A.安定的経営・管理世帯	25.0	25.0	50.0	20	13.8	37.9	48.3	29
A-1.安定的経営・管理階級	23.5	23.5	52.9	17	100.0	0.0	0.0	1
A-2.自営業層	50.0	50.0	0.0	2	0.0	0.0	100.0	2
A-3.安定的労働者階級	-	-	-	0	0.0	20.0	80.0	5
A-4.不安定労働者階級	-	-	-	0	28.6	0.0	71.4	7
A-5.無職層	0.0	0.0	100.0	1	7.1	71.4	21.4	14
a-1.経営・管理出身	33.3	0.0	66.7	3	0.0	100.0	0.0	2
a-2.自営業出身	12.5	25.0	62.5	8	27.3	45.5	27.3	11
a-3.労働者出身	33.3	33.3	33.3	9	6.3	25.0	68.8	16
B.不安定経営・管理世帯	11.1	59.3	29.6	27	10.0	23.3	66.7	30
B-1.不安定経営・管理階級	14.3	66.7	19.0	21	0.0	0.0	100.0	2
B-2.自営業層	0.0	50.0	50.0	2	20.0	20.0	60.0	5
B-3.安定的労働者階級	0.0	0.0	100.0	1	33.3	33.3	33.3	3
B-4.不安定労働者階級	0.0	50.0	50.0	2	0.0	16.7	83.3	6
B-5.無職層	0.0	0.0	100.0	1	7.1	28.6	64.3	14
b-1.経営・管理出身	0.0	66.7	33.3	3	40.0	20.0	40.0	5
b-2.自営業出身	6.7	60.0	33.3	15	5.6	22.2	72.2	18
b-3.労働者出身	22.2	55.6	22.2	9	0.0	28.6	71.4	7
C.自営業世帯	18.1	49.5	32.4	105	18.0	38.0	44.0	100
C-1.自営業層	20.6	48.5	30.9	68	24.4	29.3	46.3	41
C-2.安定的労働者階級	16.7	44.4	38.9	18	0.0	50.0	50.0	6
C-3.不安定労働者階級	9.1	54.5	36.4	11	16.7	38.9	44.4	18
C-4.無職層	12.5	62.5	25.0	8	14.3	45.7	40.0	35
c-1.経営・管理出身	-	-	-	0	20.0	40.0	40.0	5
c-2.自営業出身	17.1	50.0	32.9	82	18.1	41.7	40.3	72
c-3.労働者出身	21.7	47.8	30.4	23	17.4	26.1	56.5	23
D.安定的労働者世帯	17.0	53.7	29.3	147	13.4	40.8	45.9	157
D-1.安定的労働者階級	17.9	54.7	27.4	117	20.9	34.9	44.2	43
D-2.不安定労働者階級	14.3	42.9	42.9	14	12.3	40.4	47.4	57
D-3.無職層	12.5	56.3	31.3	16	8.8	45.6	45.6	57
d-1.経営・管理出身	11.1	77.8	11.1	9	14.3	28.6	57.1	7
d-2.自営業出身	12.7	57.7	29.6	71	20.3	40.6	39.1	64
d-3.労働者出身	22.4	46.3	31.3	67	8.1	41.9	50.0	86
E.不安定労働者世帯	18.9	56.6	24.5	53	16.4	52.5	31.1	61
E-1.不安定労働者階級	15.2	60.9	23.9	46	12.8	56.4	30.8	39
E-2.無職層	42.9	28.6	28.6	7	22.7	45.5	31.8	22
e-1.経営・管理出身	0.0	100.0	0.0	1	33.3	66.7	0.0	3
e-2.自営業出身	20.7	55.2	24.1	29	19.4	41.9	38.7	31
e-3.労働者出身	17.4	56.5	26.1	23	11.1	63.0	25.9	27
F.無職世帯	23.8	42.9	33.3	21	5.6	16.7	77.8	18
f-1.自営業出身	30.8	30.8	38.5	13	9.1	18.2	72.7	11
f-2.労働者出身	12.5	62.5	25.0	8	0.0	14.3	85.7	7
合計	18.0	51.2	30.8	373	14.4	39.2	46.3	395
再掲 安定的経営・管理階級	23.5	23.5	52.9	17	100.0	0.0	0.0	1
再掲 不安定経営・管理階級	14.3	66.7	19.0	21	0.0	0.0	100.0	2
個人階級 自営業層	20.8	48.6	30.6	72	22.9	27.1	50.0	48
個人階級 安定的労働者階級	17.6	52.9	29.4	136	17.5	35.1	47.4	57
個人階級 不安定労働者階級	13.7	56.2	30.1	73	13.4	41.7	44.9	127
個人階級 無職層	20.4	46.3	33.3	54	11.3	43.1	45.6	160
出身 経営・管理出身	12.5	62.5	25.0	16	22.7	40.9	36.4	22
出身 自営業出身	16.1	51.8	32.1	218	17.9	38.6	43.5	207
出身 労働者出身	21.6	48.9	29.5	139	9.0	39.8	51.2	166

プの水準であることも事実である。しかも、「息苦しくなる」とこたえた者の割合は他の階級の約半分にしかならず、格段に低い水準である。この階級に属する者には、それだけ競争に否定的な者が少ないということである。彼らの多くは、積極的に競争を肯定するところまでいかないが、けっして競争を否定しない。競争に関する展望に対するこたえ方の中に、そうした彼らの競争観が浮かび上がってくる。それは、同じ経営・管理階級に属する不安定経営・管理階級／世帯ときわめて対照的である。したがって、安定的経営・管理階級／世帯に属する者の場合、現在すでに突入しつつある「大競争＝メガ・コンペティション」時代に対しても、比較的肯定的に対応していく可能性が高い。しかも、そうした競争の激化によっても、けっして問題にするほどの経済的格差は生じないと考えている。それゆえ、この点から見ても、安定的経営・管理階級／世帯の将来の社会像とそれを支える価値観は、「大競争」時代の競争の激化とそれによる経済格差の拡大を未然に防ぐ力を弱める働きをするものといってよい。それは、同じ経営・管理階級に属する不安定経営・管理階級／世帯ときわめて対照的である。

これに対し、女性の場合、男性と同様、「社会が発展する」とする者はほぼどの階級でも1割台しかいない。しかし、「どちらともいえない」がほぼどの階級でも男性より多くなり、「息苦しくなる」が相対的に少なくなっている。たしかに、不安定労働者世帯に属する女性のように、「どちらともいえない」（31.1％）より「息苦しくなる」（52.5％）の方が多い場合もある。しかし、それ以外は、ほぼどの階級でも「どちらともいえない」が4割～6割台で「息苦しくなる」、「社会が発展する」を上回っている。無職世帯の女性のように77.8％が「どちらともいえない」とこたえている場合さえ存在する。したがって、女性の場合、ほぼどの階級であっても、その多くは競争の展望に関して明確な見方をしている者が少ないということである。それだけ、女性は男性と比べ競争についての実感をもちにくいのだと考えられる。それは、逆にいえば、競争を基本とする資本主義的な企業システムに男性ほど包摂されていないことを物語っている。それゆえ、「大競争」の時代を迎えて、彼女たちがどのような対応をするのか――企業システムに男性と同様に包摂されるのか、それともその動きに異議申し立てをするのか――が社会のあり方を決める重要なポイントの一つになるといってもよい。

社会の将来像の最後として、個人のあり方について人々の考え方を見てみると、表６－１３のようになる。

ここから、男女とも個人階級、世帯階級、出身階級のいずれにおいても、ほぼすべての階級で、「個人が大切にされる社会になる」、「個人のかってな行動で社会が乱れる」、「どちらともいえない」のうち、「どちらともいえない」がもっとも多くなっている。男性の場合、ほぼ3割台～5割台、女性の場合、ほぼ4割台～6割台がいずれの階級でも「どちらともいえない」とこたえている。これに当てはまらないのは、男性の個人階級としての不安定経営・管理階級と不安定労働者世帯に属する女性の場合だけである。前者は「社会が乱れる」が42.9％ともっとも多く、男性の全階級の中でトップの水準で、後者も同じく「社会が乱れる」がもっとも多く、女性の全階級中最高の46.0％となっている。これ以外の階級では、明確な判断をしていない者が多数派となっているのである。しかも、「どちらともいえない」とこたえた者の割合は、男性全体で社会の将来像に関する６つの項目中最高、女性全体で「平等の展望」についで第２位となっている。それだけ、この項目に関しては、将来の予測がつきにくいのだと考えられる。こうした事態は、純粋に将来の予測ができないだけなのか、それとも「個人が大切にされる社会」とはいかなるものなのかが、イメージしにくいことによるものなのか、あるいはまた「個人が大切にされる社会になる」とはいいきれないが、かといって「社会が乱れる」ともいえないという考え方にもとづいているのか――それは、定かではない。しかし、いずれにしても、社会における個人のあり方がどうなるのかが不透明であるという認識は、男女、階級の別なく、共通しているといえる。したがって、この点に、個人のあり方についての将来像が示されていると考えてもよいのではないだろうか。

表６－１３　個人の展望に関する考え方

	男性				女性			
	個人が大切に	社会が乱れる	どちらとも	N	個人が大切に	社会が乱れる	どちらとも	N
A.安定的経営・管理世帯	25.0	30.0	45.0	20	- 6.9	37.9	55.2	29
A-1.安定的経営・管理階級	23.5	29.4	47.1	17	100.0	0.0	0.0	1
A-2.自営業層	50.0	0.0	50.0	2	0.0	0.0	100.0	2
A-3.安定的労働者階級	-	-	-	0	0.0	40.0	60.0	5
A-4.不安定労働者階級	-	-	-	0	0.0	42.9	57.1	7
A-5.無職層	0.0	100.0	0.0	1	7.1	42.9	50.0	14
a-1.経営・管理出身	33.3	33.3	33.3	3	0.0	50.0	50.0	2
a-2.自営業出身	25.0	50.0	25.0	8	18.2	18.2	63.6	11
a-3.労働者出身	22.2	11.1	66.7	9	0.0	50.0	50.0	16
B.不安定経営・管理世帯	25.9	37.0	37.0	27	13.3	26.7	60.0	30
B-1.不安定経営・管理階級	23.8	42.9	33.3	21	50.0	0.0	50.0	2
B-2.自営業層	0.0	50.0	50.0	2	0.0	40.0	60.0	5
B-3.安定的労働者階級	100.0	0.0	0.0	1	0.0	33.3	66.7	3
B-4.不安定労働者階級	50.0	0.0	50.0	2	16.7	0.0	83.3	6
B-5.無職層	0.0	0.0	100.0	1	14.3	35.7	50.0	14
b-1.経営・管理出身	33.3	0.0	66.7	3	40.0	0.0	60.0	5
b-2.自営業出身	20.0	40.0	40.0	15	5.6	33.3	61.1	18
b-3.労働者出身	33.3	44.4	22.2	9	14.3	28.6	57.1	7
C.自営業世帯	27.5	34.3	38.2	102	18.6	34.3	47.1	102
C-1.自営業層	31.8	30.3	37.9	66	20.0	25.0	55.0	40
C-2.安定的労働者階級	17.6	35.3	47.1	17	0.0	57.1	42.9	7
C-3.不安定労働者階級	27.3	54.5	18.2	11	11.1	33.3	55.6	18
C-4.無職層	12.5	37.5	50.0	8	24.3	40.5	35.1	37
c-1.経営・管理出身	-	-	-	0	28.6	28.6	42.9	7
c-2.自営業出身	27.5	33.8	38.8	80	18.3	38.0	43.7	71
c-3.労働者出身	27.3	36.4	36.4	22	16.7	25.0	58.3	24
D.安定的労働者世帯	22.4	26.5	51.0	147	18.2	30.2	51.6	159
D-1.安定的労働者階級	23.1	25.6	51.3	117	15.9	29.5	54.5	44
D-2.不安定労働者階級	14.3	28.6	57.1	14	17.2	32.8	50.0	58
D-3.無職層	25.0	31.3	43.8	16	21.1	28.1	50.9	57
d-1.経営・管理出身	22.2	33.3	44.4	9	42.9	14.3	42.9	7
d-2.自営業出身	23.9	19.7	56.3	71	23.4	26.6	50.0	64
d-3.労働者出身	20.9	32.8	46.3	67	12.5	34.1	53.4	88
E.不安定労働者世帯	32.1	30.2	37.7	53	15.9	46.0	38.1	63
E-1.不安定労働者階級	32.6	30.4	37.0	46	17.9	43.6	38.5	39
E-2.無職層	28.6	28.6	42.9	7	12.5	50.0	37.5	24
e-1.経営・管理出身	0.0	100.0	0.0	1	0.0	100.0	0.0	3
e-2.自営業出身	27.6	24.1	48.3	29	15.6	34.4	50.0	32
e-3.労働者出身	39.1	34.8	26.1	23	17.9	53.6	28.6	28
F.無職世帯	19.0	28.6	52.4	21	11.1	22.2	66.7	18
f-1.自営業出身	23.1	15.4	61.5	13	18.2	18.2	63.6	11
f-2.労働者出身	12.5	50.0	37.5	8	0.0	28.6	71.4	7
合計	25.4	30.3	44.3	370	16.5	33.7	49.9	401
再掲 安定的経営・管理階級	23.5	29.4	47.1	17	100.0	0.0	0.0	1
再掲 不安定経営・管理階級	23.8	42.9	33.3	21	50.0	0.0	50.0	2
個人階級 自営業層	31.4	30.0	38.6	70	17.0	25.5	57.4	47
個人階級 安定的労働者階級	23.0	26.7	50.4	135	11.9	33.9	54.2	59
個人階級 不安定労働者階級	28.8	32.9	38.4	73	15.6	35.2	49.2	128
個人階級 無職層	20.4	31.5	48.1	54	17.7	35.4	47.0	164
出身 経営・管理出身	25.0	31.3	43.8	16	29.2	29.2	41.7	24
出身 自営業出身	25.5	27.8	46.8	216	18.4	31.4	50.2	207
出身 労働者出身	25.4	34.1	40.6	138	12.4	37.1	50.6	170